



マイクロハイファイ コンポーネントシステム

取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。



電気製品は安全のための注意事項を守らないと、
火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。この取扱説明書と別冊の「安全のために」をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。
お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。



XR-EM33DVD

目次

この取扱説明書の使いかた	4
再生できるディスクについて	5
<hr/>	
接続と準備	
準備 1 : 本機をつなぐ	8
準備 2 : 時計を合わせる	12
準備 3 : 言語を設定する	13
<hr/>	
DVD・ビデオ CD・CD・MP3・JPEG 再生	
ディスクを入れる	14
ディスクを再生する	14
(ノーマル / シャッフル)	
DVD に記録されているメニューを使う	17
ビデオ CD のプレイバックコントロール機能を使う	18
(PBC 再生)(バージョン 2.0)	
くり返し再生する	19
(リピート)	
好きな順に再生する	20
(プログラム)	
テレビ画面を使って頭出しどす	22
<hr/>	
DVD いろいろな機能	
音声 / 字幕 / アングルを変える	24
言語を変える	26
映像 / 音声設定を調節する	27
ディスクの再生を制限する	29
(視聴年齢制限)	
本機に設定できる項目一覧	30
<hr/>	
ラジオ	
ラジオ局を記憶させる	31
ラジオを聞く	33

テープ 再生	
テープを入れる	34
テープを聞く	34
<hr/>	
テープ 録音	
CD を録音する	35
(シンクロ録音)	
好きなところから録音する	36
(マニュアル録音)	
<hr/>	
音の調整	
好みの音にする	38
カラオケをする	39
<hr/>	
タイマー	
音楽を聞きながら眠る	42
(スリープタイマー)	
目覚ましとして使う	43
(再生タイマー)	
タイマーを使って録音する	44
(録音タイマー)	
<hr/>	
表示	
表示窓の表示を消す	46
(節電モード)	
表示窓の明るさを変える	46
表示窓を使って残り時間などを見る	47
画面を使って経過時間と残り時間を見る	48

別売りの機器を使う

別売り機器をつなぐ	50
別売り機器の音を本機のスピーカーで 聞く	52
別売りのアンプをつないで 5.1ch を 楽しむ	52
別売り機器と本機を使って録音する	53
市販の外部アンテナをつなぐ	54

故障かな？と思ったら

症状と原因	55
メッセージ一覧	64

その他

使用上のご注意	65
保証書とアフターサービス	67
主な仕様	68
用語解説	69
各部のなまえ	72
索引	75

録音についてのご注意

- 大切な録音の場合は、必ず事前にためし録りをし、正常に録音されていることを確認してください。
- マイクロハイファイコンポーネントシステムの不具合により録音されなかった場合の録音内容の補償については、ご容赦ください。
- あなたが録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。なお、この商品の価格には、著作権法上の定めにより、私的録音補償金が含まれております。

(お問い合わせ先：(社)私的録音補償金管理協会
Tel. 03-5353-0336)

ステレオを聞くときのエチケット



ステレオで音楽をお楽しみになるときは、となり近所に迷惑がかからないような音量でお聞きください。特に、夜は小さな音でも周囲によく通るものです。

窓を閉めたり、ヘッドホンをご使用になるなどお互いに心を配り、快い生活環境を守りましょう。

このマークは音のエチケットのシンボルマークです。

正常な使用状態で本製品に故障が生じた場合、当社は本製品の保証書に定められた条件にしたがって修理を致します。ただし、本製品の故障、誤動作または不具合により、録音、再生などにおいて利用の機会を逸したために発生した損害等の付随的損害の補償については、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

この取扱説明書の使いかた

- この取扱説明書では、主にリモコンによる操作を説明していますが、本体の同じ、または類似した名前のボタンを使っても同様の操作ができます。
- この取扱説明書では、次の記号を使っています。

記号	意味
DVD	DVDで使える機能です。
VIDEO CD	ビデオCDで使える機能です。
CD	音楽用CDで使える機能です。
MP3	MP3*で使える機能です。
JPEG	JPEGで使える機能です。

* MPEG1 Audio Layer3 : MPEGによって規定された音声のデジタル圧縮規格のひとつです。

再生できるディスクについて

本機では次のディスクを再生できます。次のディスク以外は再生できません。

再生できるディスクの一覧

ディスクの種類	ディスクに付いているマーク(ロゴ)
DVDビデオ	
ビデオCD	
音楽用CD	
CD-R/CD-RW (音楽データ、 MP3ファイル、 JPEGファイル)	 

“DVD VIDEO”ロゴは商標です。

本機はNTSCカラーテレビ方式に対応しています。NTSC以外のカラーテレビ方式(PAL、SECAM)対応のディスクは再生できません。

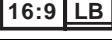
再生可能なDVDの地域番号(リージョンコード)について

DVDにはのように地域番号が表示されているものがあります。表示中の数字は再生できるプレーヤーの地域番号を表わしています。この表示に「2」が含まれていない、またはの表示のないDVDは、本機で再生できません。このようなDVDを再生しようとしたときは、「このディスクは地域制限により再生を禁止されています」と画面に表示されます。また地域番号の表示がないDVDでも地域制限されている場合があり、本機で再生できないことがあります。

DVDに表示されているマークの説明

DVDのディスクやパッケージに表示されているマークには以下のようなものがあります。それぞれのマークはそのディスクに記録されている内容や、使える機能を表しています。

ただし、それらの機能が使えても、以下のマークが表示されていないDVDもあります。

マーク	意味
	音声のトラック数を表します。
	字幕の数を表します。
	アングル数を表します。
	選択可能な画像のたて横比を表します。
	再生可能な地域番号を表します。

再生できないディスクについて

- 本機では次のディスクなどを再生できません。
- CD-ROM（拡張子「.MP3」、「.JPG」または「.JPEG」が付いたファイルを除く）
 - CD-R/CD-RW
- ただし、以下のフォーマットで記録したCD-R/CD-RWは再生できます。
- 音楽用CDフォーマット
 - ビデオCDフォーマット
 - ISO9660¹⁾レベル1/レベル2/Joliet/マルチセッション²⁾準拠のMP3、JPEGファイル
 - CD-EXTRA³⁾のデータ部分
 - スーパーオーディオCD
 - DVD-ROM、DVD-RAM
 - DVDオーディオ
 - VRモードで記録されたDVD-RW
 - 本機では再生できない地域番号（リージョンコード）のDVD
 - NTSC以外のカラーテレビ方式（PAL、SECAM）対応のディスク（本機がNTSCカラーテレビ方式対応のため）
 - 円形以外の特殊な形状（カード型、ハート型など）をしたディスク
 - 紙やシールの貼られたディスク
 - セロハンテープやレンタルディスクのラベルなどのりがはみ出したり、はがしたあとがあるディスク
 - 市販されているシールやリングなどのアクセサリーを取りつけたディスク
 - 8cmディスクを標準ディスクに変換するアダプターを使用したディスク

① ISO9660フォーマット

国際標準化機構（ISO）が制定したCD-ROMの論理フォーマット。

数段階の交換レベルが設けられています。

Level1では、ファイル名が8.3形式（ファイル名は最大8文字、「.MP3」や「.JPG」などの拡張子は最大3文字まで）で、すべて大文字を使うという制約があります。また、フォルダ名も最大8文字まで、フォルダの階層は8までという制約もあります。Level2ではファイル名、フォルダ名の長さの制約が31文字にまで緩和されています。Jolietでは最大64文字までのファイル名、フォルダ名を利用することができます。

② マルチセッション

1枚のCDに複数のセッションを記録することができる記録方式。

従来のCDが「リードイン～データ～リードアウト」で構成されるセッションを1つしか持たないのに対し、マルチセッションCDは、複数のセッションを持っています。

③ CD-EXTRA：第1セッションに音声データを、第2セッションにコンピュータ用のデータを収録します。

CD-R/CD-RW/DVD-R/DVD-RW/

DVD+R/DVD+RWについてのご注意

- CD-R/CD-RW/DVD-R/DVD-RW/ DVD+R/DVD+RW（DVD-R/DVD-RW/DVD+R/DVD+RWはビデオモードのみ）は、録音に使用したレコーダーやディスクの状態によっては再生できない場合があります。
- ファイナライズ処理（通常のCDプレーヤーで再生できるようにする処理）をしていないCD-RおよびCD-RWディスクは再生できません。
- 拡張子「.MP3」が付いていないMP3形式のファイルは、再生できません。
- MP3形式以外のファイルに拡張子「.MP3」が付いていると、そのファイルを再生してしまうため、雑音や故障の原因となります。
- MP3音声とJPEGファイルがアルバムに記録されていないときはスキップします。

- ・拡張子「.JPG」または「.JPEG」が付いていないJPEG形式のファイルは、再生できません。
- ・アルバムの最大数は999です（MP3、JPEGアルバムに記録されるトラック、ファイルの最大数は999です）。ただし、MP3、JPEG以外のファイルが多数存在する場合は、アルバムやトラック、ファイルの最大数が減少することがあります。
- ・パケットライト方式で記録されたディスクは再生できません。
- ・次のディスクは再生開始までに時間がかかることがあります。

ー多くの階層や複雑な構成で記録されたディスク
ーマルチセッションで記録されたディスク

マルチセッションについて

- ・本機ではマルチセッションで記録したディスクも再生できます。
記録方式について詳しくは、CD-R/CD-RWドライブまたは書き込み用ソフトウェアの取扱説明書をご覧ください。
- ・音楽用フォーマットで記録したトラックとMP3ファイル、JPEGファイルが同じディスクに記録されているときは、音楽用フォーマットで記録したトラックだけを再生します。

CD再生時のご注意

本製品は、コンパクトディスク（CD）規格に準拠した音楽ディスクの再生を前提として、設計されています。最近、いくつかのレコード会社より著作権保護を目的とした技術が搭載された音楽ディスクが販売されていますが、これらの中にはCD規格に準拠していないものもあり、本製品で再生・録音できない場合があります。

DVD、ビデオCD再生操作について

DVD、ビデオCDはソフト制作者の意図により再生状態が決められていることがあります。本機ではソフト制作者が意図したディスク内容にしたがって再生を行うため、操作したとおりに機能が働かない場合があります。再生するディスクに付属の説明書も必ずご覧ください。

著作権について

本機は、米国特許権及びその他の知的所有権によって保護された著作権保護技術を搭載しています。この著作権保護技術の使用にはマクロビジョンの許諾が必要であり、マクロビジョンが特別に許諾する場合を除いては、一般家庭その他における限られた視聴用以外に使用してはならないこととされています。改造または分解は禁止されています。

本機はドルビー^①デジタルデコーダーおよびDTS^②デジタルサラウンドデコーダーを搭載しています。ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。

^① Dolby、ドルビー、Pro Logic及びダブルD記号はドルビーラボラトリーズの商標です。

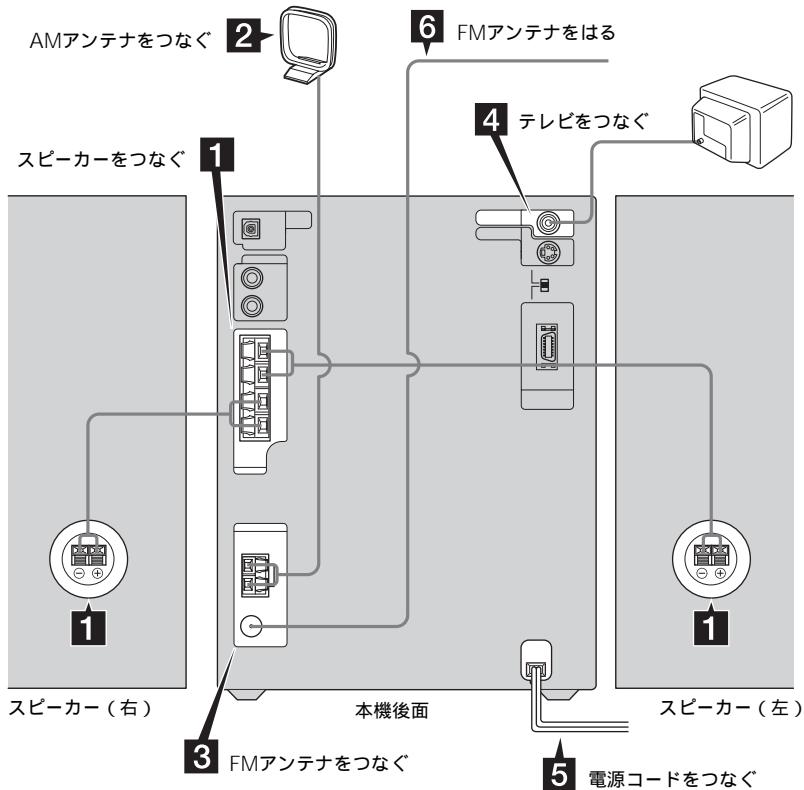
^② Digital Theater Systems, Incからの実施権に基づき製造されています。DTSおよびDTS 2.0 + Digital OutはDigital Theater Systems, Incの商標です。

準備1：本機をつなぐ

付属のアンテナやコードを**1**～**6**の順につなぎます。

付属のアンテナは室内用です。安定した受信のためには市販の外部アンテナの接続をおすすめします。

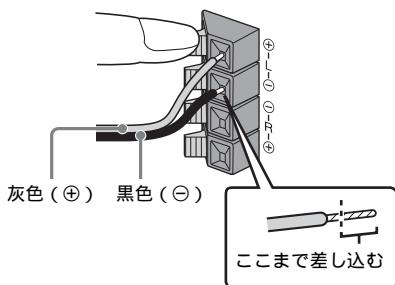
外部アンテナを含め、別売り機器の接続については、50ページをご覧ください。



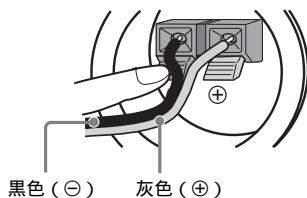
1 スピーカーをつなぐ

スピーカー端子にスピーカーコードをつなぐ。

本機

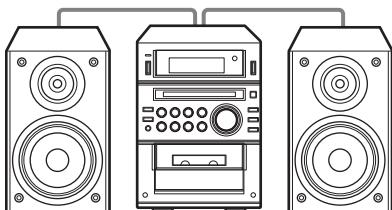


スピーカー



ご注意

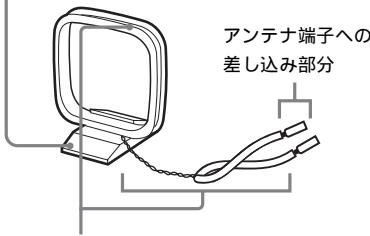
- スピーカーコードはアンテナから離してください。ラジオ局受信時の雑音の原因になります。
- R端子につないだスピーカーを向かって右へ、L端子につないだスピーカーを左へ置いてください。



2 AMアンテナをつなぐ

付属のAMアンテナの構造

プラスチックスタンド



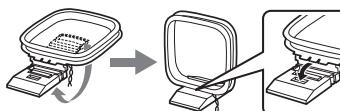
アンテナ

AMの電波を受信しやすい形状、長さになっています。はずしたり、丸めたりしないでください。

1 ループ(~~~~~)になっている部分のみをプラスチックスタンドからはずす。

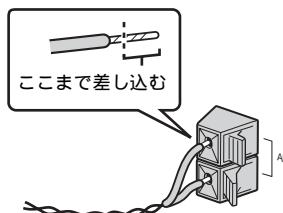
2 スタンド状に組み立てる。

台を起こし、溝にはめます



3 差し込み部分のカバーをはずす。

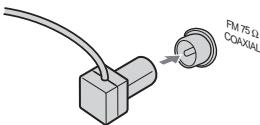
4 AMアンテナ端子にアンテナコードをつなぐ。



5 アンテナコードを軽く引いてみて、しっかりと接続されたことを確認する。

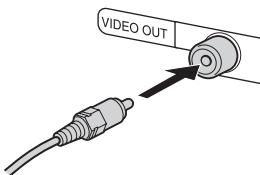
3 FMアンテナをつなぐ

FMアンテナ端子にアンテナコードをつなぐ。



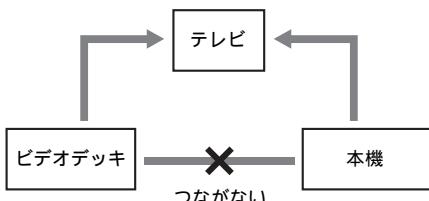
4 テレビとつなぐ(DVD、ビデオCD、JPEG用)

付属の映像接続コードを、本機のVIDEO OUT端子(黄)とテレビの映像入力端子(黄)につなぐ。プラグは奥までしっかりと差し込んでください。



ビデオデッキをつなぐときは

下記のようにテレビとビデオデッキを、映像・音声コード(別売り)を使ってつないでください。



ビデオデッキを経由して本機の映像を見ると、映像が乱れことがあります。ビデオデッキを経由して本機とテレビをつながないでください。

ご注意

本機の上にテレビを置かないでください。

ちょっと一言

• D映像入力端子付きのテレビをお使いのときは、D映像コード(別売り)を使ってつなぐと、映像本来の色が楽しめます。本機とテレビをつないだ後、本機の電源が切れた状態で本体のVIDEO OUT SELECTORをCOMPONENT VIDEO OUTに設定してください。

- S映像入力端子付きのテレビをお使いのときは、付属の映像接続コードの代わりにS映像コード(別売り)を使ってつなぐと、鮮明な画像が楽しめます。本機とテレビをつないだ後、本機の電源が切れた状態で本体のVIDEO OUT SELECTORをS VIDEO OUTに設定してください。

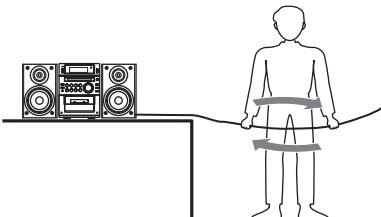
5 電源コードをつなぎ、I/O(電源)を押して電源を入れる

すべての接続を終えたら、壁のコンセントへ電源プラグを差し込みます。

6 FMアンテナをはる

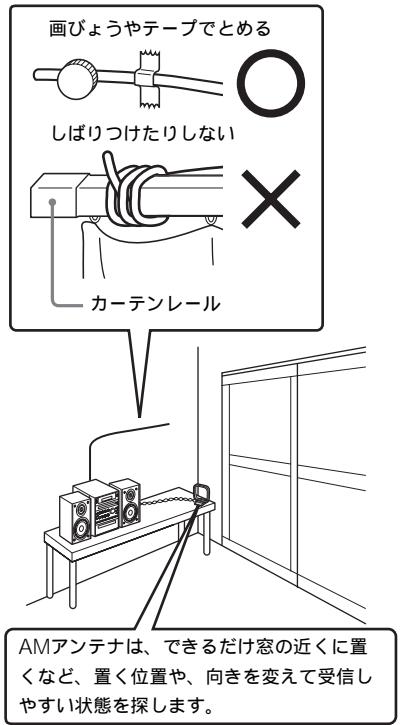
「手動受信してプリセットする」(32ページ)の手順2でFM局を選んで受信した後、次のようにアンテナを壁や天井にはってください。

- 1 両手でアンテナの先を持ち、体の向きを変えながら受信状態のよい向きを探す。

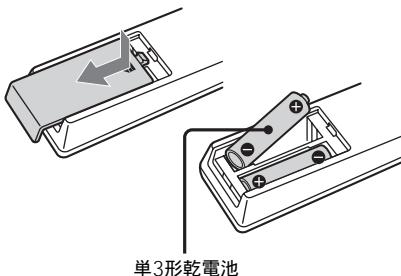


壁にはるときは、受信状態のよい壁面を探してください。

2 方向が決まつたら、画びょうやテープではりつける。



リモコンに電池を入れる
必ずイラストのように●極側から電池を入れてください。



ご注意

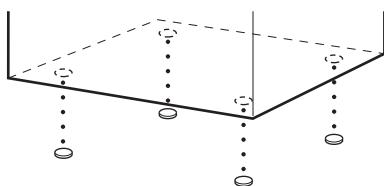
- 乾電池の使いかたを誤ると、液もれや破裂のおそれがあります。次のことを必ず守ってください。
 - ⊕と⊖の向きを正しく入れてください。
 - 新しい乾電池と使った乾電池、または種類の違う乾電池を混ぜて使わないでください。
 - 乾電池は充電しないでください。
 - 長い間リモコンを使わないときは、乾電池を取り出してください。
 - 液もれたときは、電池入れについた液をよくふき取ってから新しい乾電池を入れてください。
- リモコンを使うときは、本体のリモコン受光部[P]に直射日光や照明器具などの強い光が当たらないようにご注意ください。リモコンで操作できないことがあります。

ちょっと一言

電池の交換時期は約6か月です。リモコンを本体に近づけないと操作しづらくなったら、2個とも新しい乾電池に交換してください。

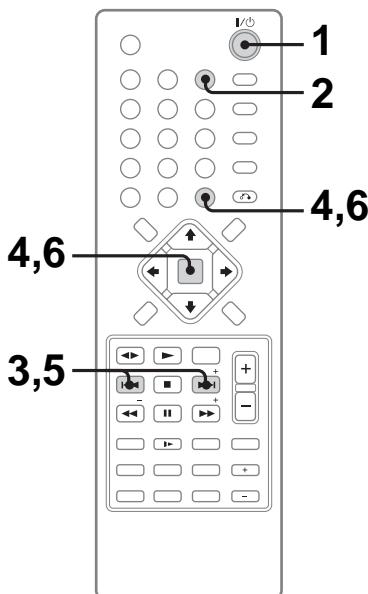
スピーカーパッドをつける

付属のスピーカーパッドをスピーカーの底面につけます。スピーカーの安定性を高め、滑りを防止します。



準備2：時計を合わせる

タイマー録音などのタイマー機能を使うためにも、あらかじめ時計を合わせておきます。



- 4 決定を押す**
「分」が点滅します。

- 5 ◀◀または▶▶をくり返し押して、「分」を合わせる**

- 6 決定を押す**
時計が動き始めます。

設定した時刻を変更する

- 1 電源を入れる**

- 2 時計/タイマーの設定を押す**

- 3 ◀◀または▶▶をくり返し押して「CLOCK SET」を表示させ、決定を押す**

- 4 「時計を合わせる」の手順3~6を行う**

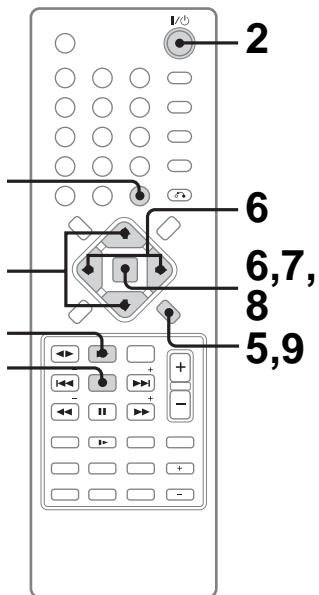
- 1 電源を入れる**

- 2 時計/タイマーの設定を押す**
時計が表示され、「時」と「AM」が点滅します。

- 3 ◀◀または▶▶をくり返し押して、「時」を合わせる**
正午は0:00PM、真夜中は0:00AMです。

準備3：言語を設定する

テレビ画面に表示される言語を選びます。



- 1 テレビの電源を入れ、テレビの入力切り換えで「入力」を選ぶ
- 2 本機の電源を入れる
- 3 DVD/CD▶ (または本体のDVD/CD▶▶) を押して、ファンクションをDVDに切り換える
- 4 停止■を押す
- 5 DVDセットアップを押す

6 ←/→で「言語設定」を選び、決定を押す

7 ↑/↓で「画面表示言語」を選び、決定を押す

8 ↑/↓で表示される一覧から言語を選び、決定を押す

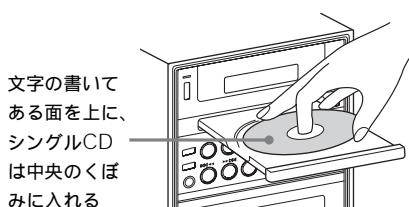
9 DVDセットアップを押して設定を終了する

DVD・ビデオCD・CD・
MP3・JPEG 再生

ディスクを入れる

1 電源を入れる

2 本体の▲DVD/CDを押して、 ディスクを入れる



3 もう一度▲DVD/CDを押して、 ディスクトレイを閉める

ご注意

- 中古ディスク/レンタルディスクで、シールなどののりがはみ出したり、はがしたあとがあるディスクは使わないでください。ディスクが取り出せなくなったり、本機の故障の原因になることがあります。
- ディスクトレイを指で強く押して閉めると故障の原因になります。トレイは必ず本体の▲DVD/CDを押して閉めてください。

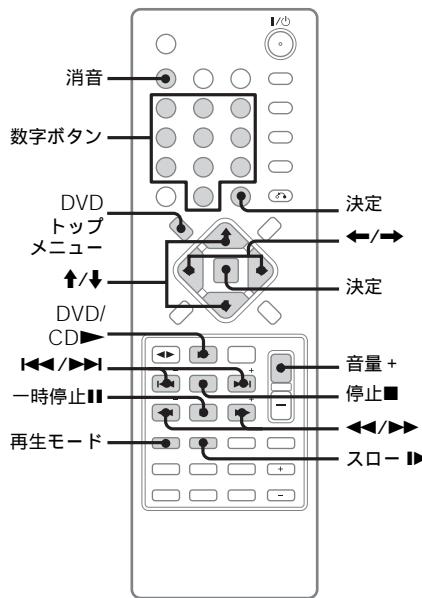
ディスクを再生する

(ノーマル/シャッフル)

DVD VIDEO CD CD MP3 JPEG

DVDやビデオCD、JPEGを再生する場合は、あらかじめテレビの電源を入れ、テレビの入力切り換えでディスクの映像が映るようにしてください。

ディスクにより異なる操作や禁止されている操作があります。ディスクに付属の説明書も必ずご覧ください。



DVDを再生しているときの表示例

チャプター番号



タイトル番号

再生時間

CDを再生しているときの表示例



DVD/CD▶ (または本体のDVD/CD▶II) を押す

ファンクションがDVDに切り換わり自動的に再生が始まります。

その他の操作

こんなときは	操作
再生を止める	停止■を押す。
一時停止する	一時停止II (または本体のDVD/CD▶II) を押す。 ¹⁾ もう一度押すと、次のフレームに移ります (DVD、ビデオCDのみ)。DVD/CD▶ (または本体のDVD/CD▶II) を押すと、再生を再開します。
再生中または一時停止中にチャプターや映像、トラックを選ぶ	<p>◀◀または▶▶をくり返し押す。</p> <p>◀◀を1回押すと再生中または一時停止中のチャプターやトラックの頭に戻ります (MP3、JPEG以外)。</p>
速度をかえて再生したい部分を探す (サーチ) (MP3、JPEG以外) ²⁾	再生中に◀◀または▶▶を押す。DVDとビデオCDはくり返し押すと早送り/早戻しの速度が変わります。再生したい部分でDVD/CD▶ (または本体のDVD/CD▶II) を押すと通常の再生に戻ります。

こんなときは	操作
曲順をかえて再生する (シャッフル) ³⁾	停止中に再生モードをくり返し押して「SHUF」を表示させ、DVD/CD▶ (または本体のDVD/CD▶II) を押す。
スロー再生する (DVD、ビデオCDのみ) ¹⁾²⁾	再生中にスロー▶を押す。くり返し押すと再生の速度が変わります。DVD/CD▶ (または本体のDVD/CD▶II) を押すと通常の再生に戻ります。
静止画を回転させる (JPEGのみ)	<p>◀または▶を押す。</p> <p>▶を押すたびに、画像が時計回りに90°回転します。</p> <p>◀を押すたびに、画像が時計回りと逆回りに90°回転します。</p>
音を消す	消音を押す。もう一度消音を押すか、音量+を押す (または本体の音量つまみを時計回りに回す)と元の状態に戻ります。
ディスクを取り出す	本体の▲DVD/CDを押す。

¹⁾DVDやビデオCD、JPEGでは画像が乱れことがあります。

²⁾DVDとビデオCDは再生している音を聞くことはできません。

³⁾DVDとPBC再生に設定中のビデオCDでは操作できません。

ちょっと一言

- 他の音源 (ラジオなど) を聞いていても、DVD/CD▶ (または本体のDVD/CD▶II) を押すとファンクションがDVDへ切り換わります (オートファンクション)。ディスクトレイにディスクが入っているときは、自動的に再生が始まります。
- MP3ファイルとJPEGファイルが混在するデータCD (CD-ROM/CD-R/CD-RW) ディスクを再生するときは、データCD優先モード (27ページ) を設定してください。

- 再生を止めたところから再生する
(リジューム再生)
- 再生を止めた後、そのつづきから再生できます。
- 1 ディスクの再生中、停止■を押して、再生を止める。
表示窓に「RESUME」と表示されます。
「RESUME」が表示されないときはリ
ジューム再生はできません。
- 2 DVD/CD▶(または本体のDVD/
CD▶II)を押す。
手順1で再生を止めたところから、再生
が始まります。

ご注意

- 再生モードがシャッフルまたはプログラムのとき、リジューム再生できません。
- 再生を止めたところによっては、リジューム再生の始まりがずれことがあります。
- 次の場合、再生を止めたところの記録は消え、リ
ジューム再生できません。
 - 停止中に停止■を押したとき
 - 電源を切ったとき
 - 電源コードを抜いたとき
 - ディスクトレイを開閉したとき
 - 再生モードを変えたとき

数字ボタンを使って曲番を選ぶ

再生モードがノーマルのとき、曲番の数字を
選んでから決定を押すと自動的に再生が始ま
ります。

30曲目を選ぶには、3を押してから0を押し
ます。

- テレビ画面を使ってアルバム、トラック、
ファイルを選ぶ(MP3、JPEGのみ)
- 1 停止中にDVDトップメニューを押す。
テレビ画面にディスクに記録されている
アルバムの一覧が表示されます。
- 2 ↑/↓/←/→で再生したいアルバムを選
び、決定を押す。
アルバムに記録されているトラックまたは
ファイルの一覧が表示されます。
- 3 ↑/↓/←/→で再生したいトラックまたは
ファイルを選び、決定を押す。
選んだトラックまたはファイルの再生が
始まります。

ご注意

- テレビ画面では、アルバム名は8文字まで、ト
ラック、ファイル名は12文字まで表示されます。
先頭の8文字が同じ名前のアルバムが複数ある場
合は、アルバム内のトラック、ファイルは1つの
アルバムにまとめて表示されます。
- アルバムやトラック、ファイル名に使用できる文
字はアルファベットと数字のみです。それ以外は
全て「_」が表示されます。
- MP3を再生中は、再生時間が正確に表示されな
いことがあります。

DVDに記録されているメニューを使う

DVD

DVDには、DVD独自のメニューが記録されているものがあります。テレビ画面に表示されるメニューを使って再生できます。

• DVDトップメニューを使う

複数のタイトル（映像や曲）が記録されているDVDを再生するときは、好きなタイトルを選べます。

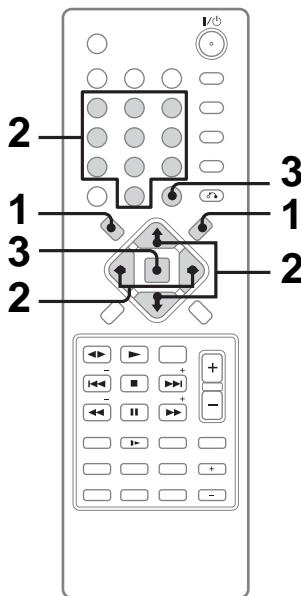
• DVDメニューを使う

ディスクの内容をメニューで選択できるDVDを再生するときは、再生したい項目や字幕の言語、音声の言語などをDVDメニューで選べます。

1 DVDトップメニューまたはDVDメニューを押す
メニューが表示されます。メニューの内容はDVDにより異なります。

2 再生したい項目を↑/↓/←/→または数字ボタンで選ぶ

3 決定を押す



ビデオCDのプレイバックコントロール機能を使う

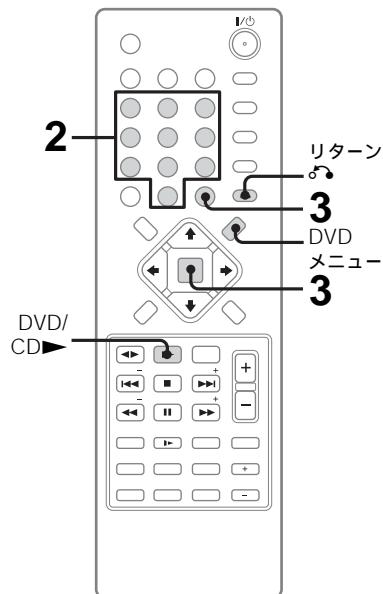
(PBC再生)(バージョン2.0)



PBC*機能を使って、対話型の操作や検索などができます。

PBC再生とは、テレビ画面に表示されるメニューを使って、再生をすることです。

* PBCはPlayback Controlの略です。



1 PBC対応ビデオCDを再生する選択用のメニュー画面が表示されます。

2 メニュー画面で行いたい(再生したい)項目の番号を数字ボタンで選ぶ

3 決定を押す

4 テレビ画面に表示される選択用のメニュー画面などにしたがって、操作する

操作のしかたはディスクによって異なることがありますので、ディスクに付属の説明書もあわせてご覧ください。

選択用のメニュー画面に戻る
リターンボタンを押す。

ご注意

ディスクによっては手順3で決定を押すことを「選択ボタンを押す」と表示するものがあります。そのときは、DVD/CD▶(または本体のDVD/CD▶▶)を押してください。

ちょっと一言

PBC機能を使わないで再生することもできます。

1 停止中にDVDメニューをくり返し押してテレビ画面に「PBC切」を表示させる。

2 再生したいトラックを選んで再生を始める。

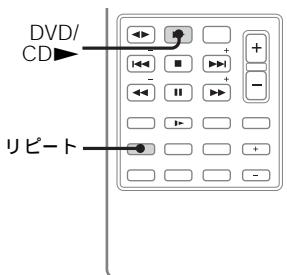
選択用のメニューなどの静止画は再生できません。
PBC再生に戻すには、停止中にDVDメニューをくり返し押してテレビ画面に「PBC入」を表示させます。

くり返し再生する

(リピート)

DVD VIDEO CD CD MP3 JPEG

ディスクのすべてのトラックやファイル、または1つのタイトルやチャプター、トラック、ファイルをくり返し再生できます。



本機の表示窓を使ってリピート再生する

再生中にリピートをくり返し押して「REP」または「REP1」を表示させる

REP： 再生中のディスク全体をくり返します（5回まで）¹⁾

REP1： ビデオCD/CD/MP3/JPEGのときは、再生中の1曲だけをくり返します。DVDのときは、再生中の1つのタイトル²⁾またはチャプター²⁾だけをくり返します。

¹⁾ DVD以外

²⁾ タイトルまたはチャプターのどちらをリピート再生しているかは、テレビ画面で確認することができます。

リピート再生をやめるには
リピートをくり返し押して、「REP」と
「REP1」を消す。

ご注意

- DVDによってはリピート再生できない場合があります。
- ビデオCDのPBC再生では、リピート再生できません。

テレビ画面を使ってリピート再生する

再生中にリピートをくり返し押す
押すたびに次のように変わります。

DVDのとき

- 切：リピート再生をオフにします。
- タイトル：再生中のタイトルをくり返し再生します。
- チャプター：再生中のチャプターをくり返し再生します。

ビデオCD/CD/MP3/JPEGのとき

- 切：リピート再生をオフにします。
- 全部：すべてのトラックまたはファイルをくり返し5回再生します。
- トラック（JPEG以外）：再生中のトラックをくり返し再生します。
- ファイル（JPEGのみ）：再生中のファイルをくり返し再生します。

ノーマル再生に戻す

「切」を選ぶ。

ご注意

- DVDによっては、リピート再生できない場合があります。
- ビデオCDのPBC再生では、リピート再生できません。

ちょっと一言

停止中にリピート再生を設定できます。リピートをくり返し押して項目を選び、DVD/CD▶（またはDVD/CD▶II）を押します。リピート再生が始まります。

好きな順に再生する

（プログラム）

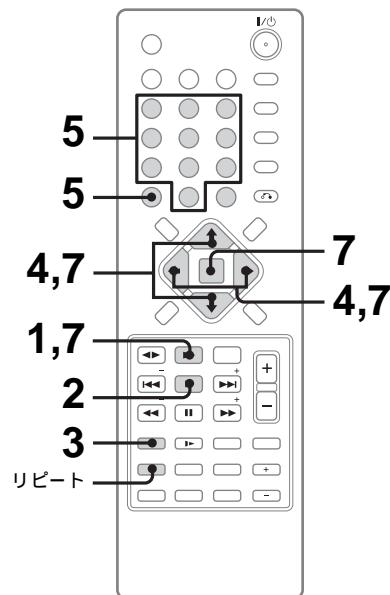
VIDEO
CD

CD

MP3

JPEG

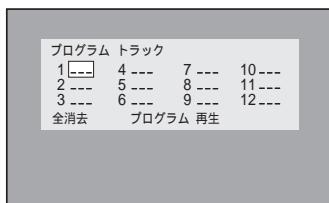
最大12個のトラック（曲）を選んでプログラムできます。プログラムした曲はテープにシンクロ録音できます（35ページ）。



1 DVD/CD▶（または本体のDVD/CD▶II）を押して、ファンクションをDVDに切り換える
再生が始まります。

2 停止■を押して再生を止めた後、もう一度停止■を押す

3 再生モードをくり返し押して、プログラム画面を表示させる



4 ↑/↓/←/→でプログラムしたいステップ番号を選ぶ

5 数字ボタンでプログラムしたいトラックを選ぶ

間違えたときは、クリアを押して数字を消してから入力し直します。

6 続けてトラックをプログラムしたいときは、手順4と5をくり返す

7 ↑/↓/←/→で「プログラム再生」を選び、DVD/CD▶（または本体のDVD/CD▶II）を押す

プログラムした順に再生が始まります。プログラム再生が終わっても、もう一度DVD/CD▶（または本体のDVD/CD▶II）を押すと同じプログラムを再生できます。

設定したプログラムを消す

停止中に↑/↓/←/→で消したいステップ番号を選び、クリアを押す。

↑/↓/←/→で「全消去」を選び決定を押すと、全てのプログラムが消えます。

ノーマル再生に戻す

停止中に再生モードをくり返し押して、「コンティニュー」を表示させる。

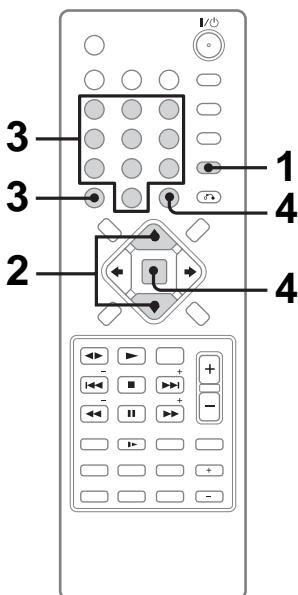
ちょっと一言

設定したプログラムでリピート再生もできます。プログラムを再生中に、リピートを押します。

テレビ画面を使って頭出しする

DVD VIDEO CD CD

チャプターとトラックには番号が付けられているので、その番号を入力して頭出しができます。また、経過時間をタイムコードで入力して場面を探すこともできます（タイムサーチ）。



チャプターを頭出しする

- 1 タイムサーチを押す
サーチ画面が表示されます。
- 2 ↑/↓で「チャプター」を選ぶ
- 3 数字ボタンで再生したいチャプターを選ぶ
間違えたときは、クリアを押して数字を消してから入力し直します。
- 4 決定を押す
再生が始まります。

トラックを頭出しする

- 1 タイムサーチをくり返し押し
て、ディスクサーチ画面を表示
させる
- 2 ↑/↓で「トラック」を選ぶ
- 3 数字ボタンで再生したいトラックを選ぶ
間違えたときは、クリアを押して数字を消してから入力し直します。
- 4 決定を押す
選んだトラックから再生が始まります。

タイムコードを入力して場面を探す
(タイムサーチ)

1 タイムサーチを押す。

DVDのとき

サーチ画面が表示されます。

↑/↓で「時間」を選びます。

ビデオCD/CDのとき

トラックサーチ画面が表示されます。

2 数字ボタンでタイムコードを入力し、決定を押す。

DVDのときは、再生中のタイトルの再生時間を入力します。ビデオCDまたはCDのときは、再生中のトラックの再生時間を入力します。

例えば、始まりから2時間10分20秒過ぎた場面を探すには、2:10:20と入力します。

ディスクの始まりからの時間でビデオCD/CDの場面を探す

1 停止中にタイムサーチを押す(再生中はタイムサーチを2回押す)。

ディスクサーチ画面が表示されます。

2 ↑/↓で「時間」を選ぶ。

3 数字ボタンでタイムコードを入力し、決定を押す。

ディスクの始まりからの時間を入力します。

画面表示を消す

画面表示が消えるまでタイムサーチをくり返し押す。

ご注意

- ・タイトルやチャプター、トラックの番号はディスク上に記録されている番号と同じように表示されます。
- ・ビデオCDのシーンとインデックスを探すことはできません。
- ・ビデオCDのPBC再生では、タイムサーチで場面を探すことはできません。
- ・サーチ画面でタイムコードとチャプター番号を同時に入力できません。
- ・ディスクサーチ画面でタイムサーチとトラックサーチを同時に使用できません。サーチしたい方を選んでから決定を押してください。

ちょっと一言

再生中に、経過時間と残り時間を切り換えることができます。詳しくは、「画面を使って経過時間と残り時間を見る」(48ページ)をご覧ください。

音声/字幕/アンクル を変える

DVD

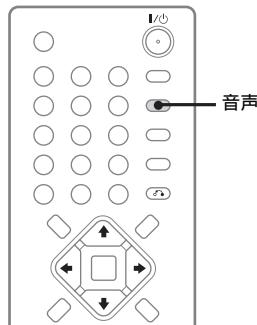
VIDEO
CD

CD

音声を切り換える

DVDの再生中に音声の言語や音声記録方式を選ぶことができます。

また、CDやビデオCD再生中は、左右どちらかのチャンネルの音を左右両方のスピーカーから出すことができます。このときの音声はモノラルになります。例えば、カラオケのビデオCDなどでは、音声を切り換えてボーカルのトラックを消し、伴奏だけを聞くこともできます。



再生中に音声をくり返し押す
押すたびに次のように変わります。

DVDのとき

選べる言語と音声記録方式はDVDによって異なります。

同じ言語が2個以上表示されたときは、音声記録方式（チャンネル数など）が異なります。

ビデオCD/CDのとき

お買い上げ時の設定は、「ステレオ」です。

- ステレオ：通常のステレオ再生
- 左：左チャンネルの音（モノラル）
- 右：右チャンネルの音（モノラル）

お好みの音声言語を登録する

「言語を変える」(26ページ)の操作で、本機にあらかじめ設定しておくことができます。

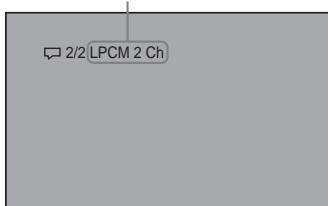
ご注意

- 2チャンネル以外のDVD音声を再生すると、2チャンネルに合成して、本機スピーカーから出力します。ただし、「マルチチャンネルPCM」フォーマットで録音された音声は出力されません。
- 複数の音声が記録されていないディスクでは、音声の切り換えはできません。
- DVDによっては複数の言語が記録されていても、切り換えを禁止している場合があります。
- ビデオCDやCDのときは、電源を切ったり、ディスクトレイを開閉すると通常のステレオ再生に戻ります。
- DVD再生中、自動的に音声が切り換わることがあります。

再生しているチャンネルを表示する（DVDのみ）

音声を押すと、現在再生中のDVDに記録されているチャンネル数を表示することができます。

現在の音声の記録方式



画面表示の例

- PCM（ステレオ）

LPCM 2 Ch

- ドルビーデジタル2チャンネルのとき

□□ 2 Ch

- ドルビーデジタル5.1チャンネルのとき

□□ D 5.1 Ch

- DTSのとき

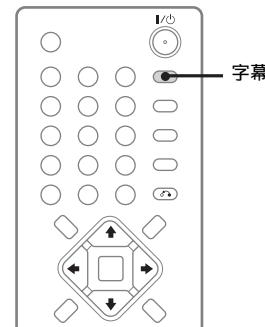
dts 5.1 Ch

- MPEGオーディオのとき

MPEG 2 Ch

字幕を表示する（DVDのみ）

字幕が記録されているディスクは、再生中に字幕を表示したり消したりできます。複数の言語で字幕が記録されているときは、再生中に字幕を切り換えることができます。語学学習などに便利です。



再生中に字幕をくり返し押す

押すたびに字幕が切り換わります。

字幕を消す

字幕をくり返し押して、「切」を選ぶ。

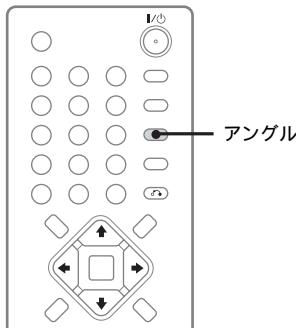
ご注意

ディスクによっては字幕が記録されていても、字幕を表示したり消したりすることや、切り替えを禁止している場合があります。

アングルを切り換える (DVDのみ)

複数のアングルがディスクに記録されているとき、好きなアングルに切り替えながら再生できます。

例えば、動いている電車のシーンの再生中に、電車の正面から見ていた景色を、左右の窓からの景色に切り換えて見ることができます。



再生中にアングルをくり返し押す
押すたびにアングルが切り換わります。

ご注意

ディスクによっては複数のアングルが記録されても、切り換えを禁止している場合があります。

言語を変える

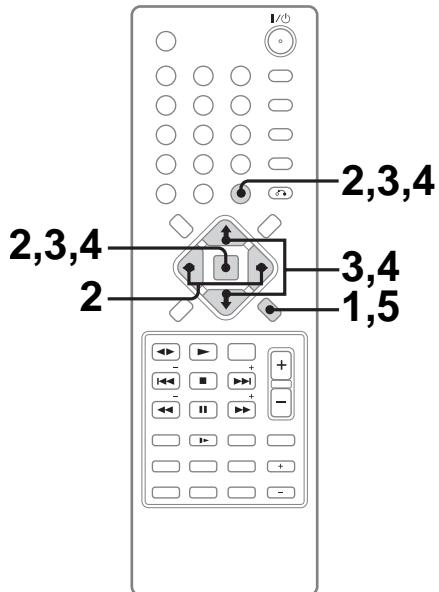
DVD

VIDEO CD

CD

MP3

JPEG



1 停止中にDVDセットアップを
押す
設定画面が表示されます。

2 $\leftrightarrow/\rightarrow$ で「言語設定」を選び、
決定を押す

3 \uparrow/\downarrow で設定したい項目を選び、
決定を押す

4 \uparrow/\downarrow で言語を選び、決定を押す

5 DVDセットアップを押して設
定を終了する

- 画面表示言語

画面の表示言語を切り替えます。

表示される言語一覧から選びます。

- DVDメニュー言語 (DVDのみ)

DVDメニューの言語を選びます。

- 音声言語 (DVDのみ)

音声の言語を切り替えます。

表示される言語の一覧から選びます。

- 字幕言語 (DVDのみ)

字幕の言語を切り替えます。

表示される言語の一覧から選びます。

ご注意

選んだ言語がディスクに記録されていないときは、記録されている言語のいずれかを選びます ('画面表示言語' を除く)。

ちょっと一言

'DVDの設定をお買い上げ時の状態*に戻すときはリセット'(63ページ)の操作で、視聴年齢制限を除くすべてのDVD設定をリセットできます。

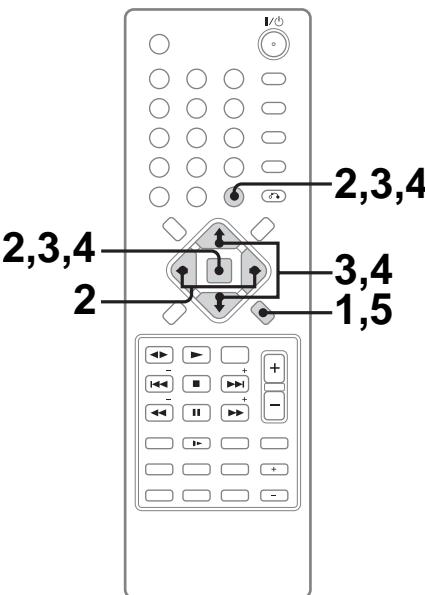
映像/音声設定を調節する

DVD

VIDEO
CD

MP3

JPEG



1 停止中にDVDセットアップを押す

設定画面が表示されます。

ご注意

JPEGディスクが本体に入っているときは、設定画面は表示されません。

2 ←/→で「AV」を選び、決定を押す

3 ↑/↓で設定したい項目を選び、決定を押す

4 ↑/↓で項目を選び、決定を押す

5 DVDセットアップを押して設定を終了する

・TVタイプ

接続するテレビの画面の種類（ワイドテレビまたは従来の4:3画面テレビ）を設定します。下線の項目は、お買い上げ時の設定です。

4:3	4:3画面のテレビとつなぐとき。パンスキヤン
4:3	4:3画面のテレビとつなぐとき。レターポックス
16:9	ワイドテレビまたは、ワイドモードのあるテレビとつなぐとき。

4:3パンスキヤン



4:3レターポックス



16:9



ご注意

DVDによっては「4:3レターポックス」あるいは「4:3パンスキヤン」に設定していても、自動的にどちらかで再生されるものがあります。

• Dolby Digital (DVDのみ)

別売りのアンプをつないで5.1チャンネル音声を聞くときに設定します（52ページ）。

• DTS (DVDのみ)

別売りのアンプをつないで5.1チャンネル音声を聞くときに設定します（52ページ）。

ご注意

「Dolby Digital」または「DTS」で「ピットストリーム」が選ばれているときは、付属のスピーカー や本機につないだヘッドホンから音声は出力されません。また、テープに録音しても何も録音されません。

• データCD優先モード (MP3、JPEGのみ)

MP3ファイルとJPEGファイルが混在するデータCD (CD-ROM/CD-R/CD-RW) ディスクを再生する際、どちらのファイルを優先して認識するか設定します。

下線の項目は、お買い上げ時の設定です。

MP3 MP3ファイルが存在する場合「MP3ディスク」として認識します。MP3ファイルが存在せず、JPEGファイルが存在する場合は「JPEGディスク」として認識します。

JPEG JPEGファイルが存在する場合「JPEGディスク」として認識します。JPEGファイルが存在せず、MP3ファイルが存在する場合は「MP3ディスク」として認識します。

ちょっと一言

「DVDの設定をお買い上げ時の状態*に戻すときはリセット」(63ページ)の操作で、視聴年齢制限を除くすべてのDVD設定をリセットできます。

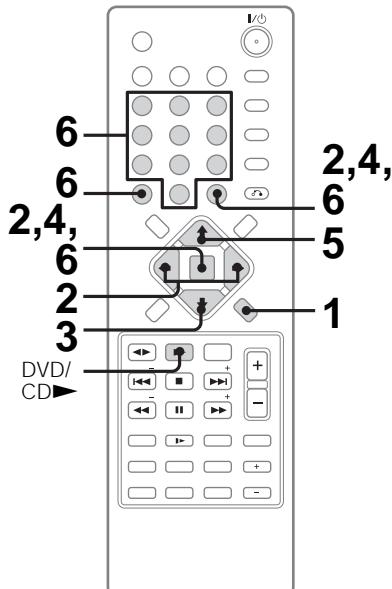
ディスクの再生を制限する

(視聴年齢制限)



DVDの中には、地域ごとに設けられたレベル（見る人の年齢など）によって視聴を制限できるものがあります。視聴年齢制限機能を使うと、この視聴制限レベルを設定することができます。

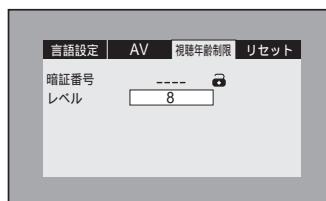
制限されているシーンが再生されたとき、そのシーンをカットしたり、あらかじめ用意された別のシーンに差し替えて再生します。



- 1 停止中にDVDセットアップを押す
設定画面が表示されます。

- 2 ←/→で「視聴年齢制限」を選び、決定を押す

- 3 ↓で「レベル」を選ぶ



- 4 決定をくり返し押して、設定したいレベルを選ぶ

押すたびにレベルが変わります。
レベルの数字が小さいほど制限が厳しくなります。

- 5 ↑で「暗証番号」を選ぶ

- 6 数字ボタンで4桁の暗証番号を入力し、決定を押す
間違えたときは、決定を押す前にクリアを押して数字を消してから入力し直します。

視聴年齢制限を解除する

数字ボタンで4桁の暗証番号を入力し、決定を押す。

暗証番号を変更する

- 手順6で数字ボタンで4桁の暗証番号を入力し、決定を押す。
- 数字ボタンで新しい暗証番号を登録し、決定を押す。

視聴年齢制限が設定されたディスクを再生する

- ディスクを入れて、DVD/CD▶ (または本体のDVD/CD▶II) を押す。
視聴制限の暗証番号入力画面が表示されます。
- 数字ボタンで4桁の暗証番号を入力し、決定を押す。
再生が始まります。

ご注意

- 視聴年齢制限機能がないDVDは、本機で視聴制限をしても再生は制限できません。
- DVDによっては、再生中に視聴年齢設定の変更を要求される場合があります。その場合、暗証番号を入力し、レベルを変更してください。リジューム再生が解除されると、元のレベルの設定に戻ります。

ちょっと一言

登録した暗証番号を忘れてしまったときは、「暗証番号」を選び6桁の数字「199703」を数字ボタンで入力して決定を押します。視聴年齢制限が解除されるので、新しい暗証番号を入力します。

本機に設定できる項目一覧

DVDセットアップを押すと、以下の設定画面項目が表示されます。

下線の項目は、お買い上げ時の設定です。

言語設定 (24、26ページ)

画面表示言語	表示される言語一覧から選びます。
DVDメニュー言語	表示される言語一覧から選びます。
音声言語	表示される言語一覧から選びます。
字幕言語	表示される言語一覧から選びます。

AV (27ページ)

TVタイプ	4:3パンスキヤン 4:3レターボックス <u>16:9</u>
Dolby Digital	PCM
DTS	PCM 比特ストリーム
データCD優先モード	MP3 JPEG

視聴年齢制限 (29ページ)

暗証番号	
レベル	1 G 2 3 PG 4 PG 13 5 6 R 7 NC 17 <u>8</u>

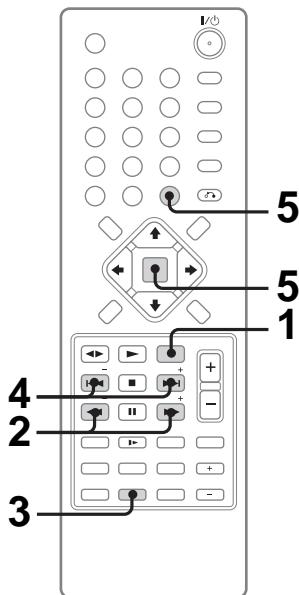
リセット (63ページ)

リセット	はい <u>いいえ</u>
------	------------------

ラジオ

ラジオ局を記憶させる

FM放送を20局、AM放送を10局まで記憶(プリセット)させることができます。聞くときは、プリセット番号を選ぶだけで選局でできます。



自動受信してプリセットする

地域で受信できるラジオ局を自動的に選び、記憶させることができます。

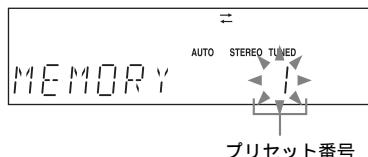
1 TUNER BANDをくり返し押して、「AM」か「FM」を選ぶ

2 選局+または-を長く押す

周波数表示が変わっていき、ラジオ局を受信すると自動的に止まり、「TUNED」と「STEREO」(FMステレオ放送のときのみ)が表示されます。
「TUNED」が出さずに止まらないときは「手動受信してプリセットする」の手順2で聞きたいラジオ局の周波数に合わせます(32ページ)。

3 チューナーメモリーを押す

プリセット番号(記憶させる番号)が点滅します。点滅している間に手順4、5を行ってください。



4 プリセット+または-をくり返し押して、記憶させたい番号(プリセット番号)を選ぶ
FMは1~20、AMは1~10から選びます。

5 決定を押す

6 手順1~5をくり返し、ラジオ局を記憶させていく

[次のページへつづく](#)

手動受信してプリセットする

周波数をあわせて、好きなラジオ局を記憶させることができます。

1 TUNER BANDをくり返し押して、「AM」か「FM」を選ぶ

2 選局 + または - をくり返し押して、受信したいラジオ局の周波数に合わせる

3 チューナーメモリーを押す

プリセット番号（記憶させる番号）が点滅します。点滅している間に手順4、5を行ってください。

4 プリセット + または - をくり返し押して、記憶させたい番号（プリセット番号）を選ぶ

FMは1~20、AMは1~10から選びます。

5 決定を押す

6 手順1~5をくり返し、ラジオ局を記憶させていく

その他の操作

こんなときは	操作
電波の弱いラジオ局を受信する	「手動受信してプリセットする」の手順で受信する。
プリセットした番号に別のラジオ局を記憶させる	手順1からやり直す。 手順3の後でプリセット + または - をくり返し押して、別のラジオ局を記憶させたいプリセット番号を選びます。

ちょっと一言

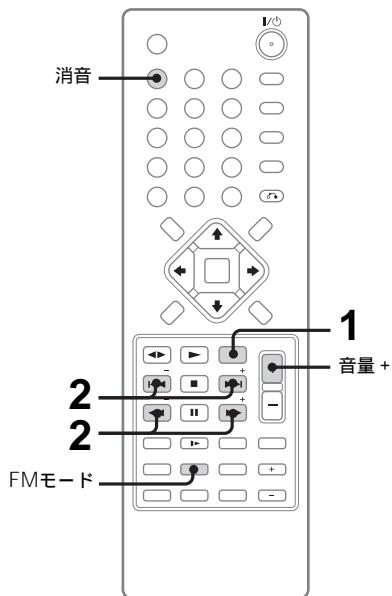
・受信状態が悪いときは、アンテナを窓の近くや外に置くなど、向きや置き場所、はる位置を変えてみてください。それでも受信状態が悪いときは、市販の外部アンテナの使用をおすすめします（54ページ）。

・FM放送でテレビの音（1~3チャンネル）をプリセットすることもできます。放送局をFMにして、プリセットしたいテレビチャンネルの周波数に合わせます。ステレオ放送はモノラル音声を、2カ国語放送は主音声を受信します。

チャンネル	周波数 (MHz)
1チャンネル	95.75
2チャンネル	101.75
3チャンネル	107.75

ラジオを聞く

好きなラジオ局をあらかじめ本機に記憶させて聞くことができます（プリセット受信）。また、周波数を合わせて記憶させていないラジオ局を聞くこともできます（マニュアル受信）。



記憶させたラジオ局を聞く (プリセット受信)

あらかじめ本機にラジオ局を記憶させておきます（31ページ）。

1 TUNER BANDをくり返し押して、「AM」か「FM」を選ぶ

2 プリセット+または-をくり返し押して、聞きたいラジオ局のプリセット番号を選ぶ

周波数を合わせてラジオを聞く (マニュアル受信)

1 TUNER BANDをくり返し押して、「AM」か「FM」を選ぶ

2 選局+または-をくり返し押して、聞きたいラジオ局の周波数に合わせる

音を消す

消音を押す。もう一度消音を押すか、音量+を押す（または本体の音量つまみを時計回りに回す）と元の状態に戻ります。

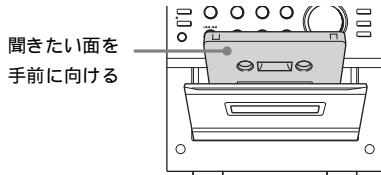
ちょっと一言

- 受信状態が悪いときは、アンテナを窓の近くや外に置くなど、向きや置き場所、はる位置を変えてみてください。
それでも受信状態が悪いときは、市販の外部アンテナの使用をおすすめします（54ページ）。
- FMステレオ放送受信中、雑音が多いときはFMモードをくり返し押して「MONO」を表示させます。モノラル受信になりますが、雑音が少くなります。
- 「周波数を合わせてラジオを聞く」の手順2で選局+または-を長く押すと、周波数表示が変わっていき、ラジオ局を受信すると自動的に止まります（自動受信）。
- FM放送でテレビの音（1~3チャンネル）を聞くことができます。各チャンネルの周波数は、32ページをご覧ください。
- ラジオまたはテレビの音を録音したいときは、「好きなところから録音する」（36ページ）または「タイマーを使って録音する」（44ページ）をご覧ください。

テープ 再生

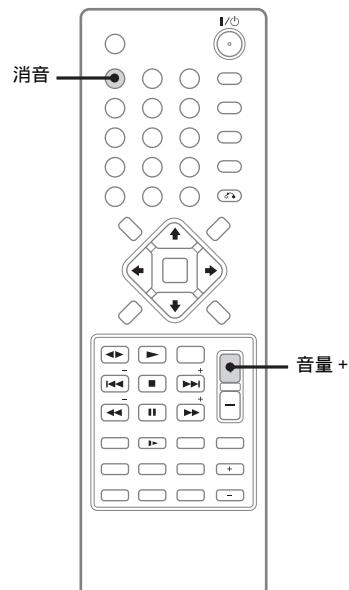
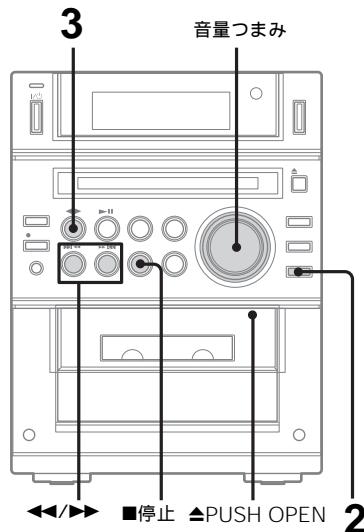
テープを入れる

本体の△PUSH OPENを押して
テープを入れる



テープを聞く

本機はTYPE I(ノーマル)のテープにのみ
対応しています。



1 テープを入れる

2 リバースモードをくり返し押して、再生する面を選ぶ

片面だけ聞くときは➡を、両面を聞くときは➡➡を表示させます。両面をくり返し聞くときは➡➡*を表示させます。

* 5回くり返して自動的に止まります。

3 TAPE◀▶を押す

▶が表示され、おもて面から再生が始まります。うら面を聞くには、TAPE◀▶をもう一度押します。◀が表示され、反対面の再生が始まります。

その他の操作

こんなときは	操作
再生を止める	■停止を押す。
早送りまたは巻き戻しする	◀◀または▶▶を押す。
音を消す	消音を押す。もう一度消音を押すか音量つまりを時計回りに回す(または音量+を押す)と元の状態に戻ります。
テープを取り出す	停止中に▲PUSH OPENを押す。

ちょっと一言

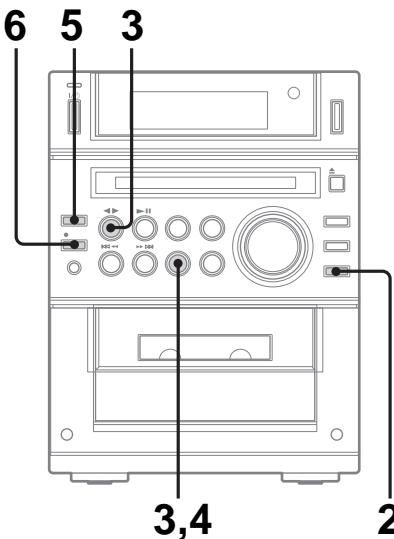
他の音源(ラジオなど)を聞いていても、TAPE◀▶を押すとファンクションがテープへ切り換わります(オートファンクション)。

テープ 録音

CDを録音する

(シンクロ録音)

1枚のCDをそのままテープにアナログ録音できます。



1 録音用のテープを入れる

2 リバースモードをくり返し押して、片面録音(➡)が両面録音(➡➡または➡➡*)を選ぶ

3 TAPE◀▶をくり返し押して録音を始める面を選び、■停止を押す

両面またはおもて面を録音するときは▶を表示させます。うら面のみを録音するときは◀を表示させます。

4 ファンクションをDVDに切り換えてからCDを入れ、■停止を2回押す

5 CDシンクロを押す

「REC」が点滅します。

テープが録音一時停止に、CDは再生一時停止になります。

6 ●録音一時停止/スタートを押す

録音が始まります。

選んだ曲すべての録音が終わると、CD、テープとも自動的に停止します。

録音を止める

■停止を押す。

CDの好きな曲だけを録音するには
プログラム機能を使って、好きな曲を選んで
から録音することもできます。手順4と5の
あいだで「好きな順に再生する」(20ペー
ジ)の手順3~6の操作を行います。

ご注意

- DVDやビデオCD、MP3、JPEGはシンクロ録音できません。
- シンクロ録音中に他の音源の音を聞くことはできません。
- ディスクの再生モードがリピートやシャッフルになっているときは、手順5で自動的にノーマル再生に切り換わります。
- サウンド効果が設定されているときは、手順5で自動的に「FLAT」に切り換わります。

ちょっと一言

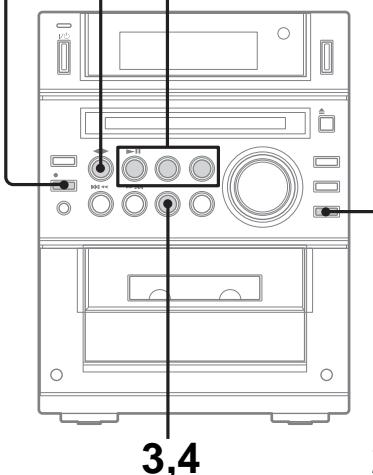
□または◀□を選んで録音すると、曲の途中でおもて面が終わっても、うら面にその曲の頭から録音し直します。

好きなところから録音する

(マニュアル録音)

ディスクやラジオからお好みに応じて録音ができます。例えば、CDの好きな部分だけを録音することができます。

5,6 **3** **4**



1 録音用のテープを入れる

2 リバースモードをくり返し押して、片面録音(↔)か両面録音(↔または↔↔)を選ぶ

3 TAPE◀▶をくり返し押して録音を始める面を選び、■停止を押す

両面またはおもて面を録音するときは▶を表示させます。うら面のみを録音するときは◀を表示させます。

4 以下のボタンを押して、録音したい音源を表示させる

- DVD/CD▶■II：本機のディスクの音を録音する。■停止を2回押して再生を止める。
- TUNER/BAND：本機のラジオまたはテレビの音を録音する。
- MD：MD IN入力端子につないだ別売り機器の音を録音する。

5 ●録音一時停止/スタートを押す

テープが録音一時停止になり、「REC」が点滅します。

6 ●録音一時停止/スタートを押してから録音したい音源の再生を始める

録音が始まります。

録音を止める

■停止を押す。

ご注意

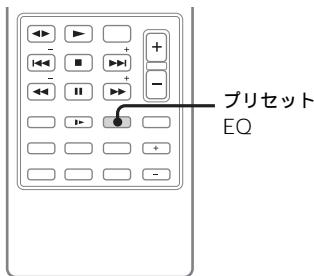
- 録音中に他の音源の音を聞くことはできません。
- DVDの音が何も録音されないときは、設定画面の「AV」で「Dolby Digital」または「DTS」を「PCM」に設定してください。
- サウンド効果が設定されているときは、手順5で自動的に「FLAT」に切り換わります。

音の調整

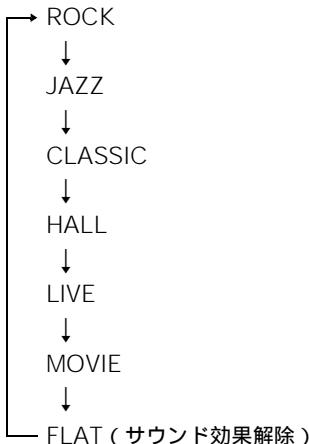
好みの音にする



聞きたい音楽の種類に合わせて、6種類のサウンド効果を楽しめます。



プリセットEQをくり返し押す
押すたびに表示が次のように変わります。



サウンド効果

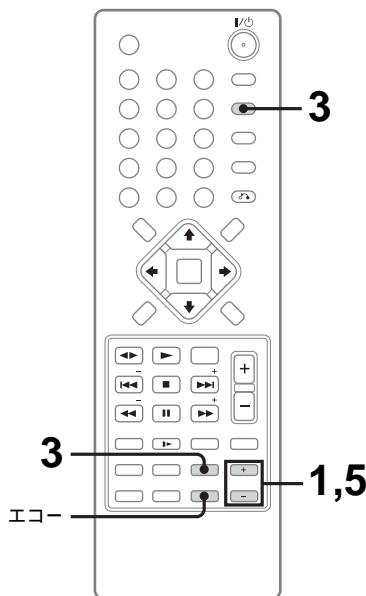
表示	特徴
ROCK	低音と高音を強調した音。 ロックやダンス音楽に適しています。
JAZZ	低音と高音をやや強調した音。 ジャズなどの音楽に適しています。
CLASSIC	高音を調節した音。 オーケストラやピアノソロなどのクラシック音楽に適しています。
HALL	大きい劇場や教会にいるような音響効果を再現します。
LIVE	低音と高音を強調した音。 コンサートホールにいるような迫力のある音を再現します。
MOVIE	低音を強調した音。 映画館にいるような音響効果を再現します。

カラオケをする

DVD VIDEO CD CD MP3 JPEG

別売りのマイクをつないでカラオケを楽しむ
ことができます。

カラオケを楽しむ



1 マイクレベル - (マイナス) を
くり返し押して「MIC OFF」
を表示させる

2 別売りのマイクを本体のマイク
端子につなぐ

3 カラオケポンをくり返し押して
「KARA PON」を表示させる
多重音声で記録されたディスクでカラ
オケをする場合は、再生中に音声をく
り返し押して「左」または「右」を選
びます（「音声を切り換える」（24ペー
ジ））

4 カラオケをする音源の再生を始
める

5 マイクレベル+または-をくり
返し押してマイクの音量を調節
する
押すたびに表示が次のように変わりま
す。

MIC OFF ↔ MIC 1 ↔ MIC 2 ↔
... ↔ MIC7

カラオケを止める

マイクレベル - (マイナス) をくり返し押し
て「MIC OFF」を表示させてからマイクを
抜き、カラオケポンをくり返し押して「」
を消す。

マイクエコーを調節する

エコーをくり返し押す。エコーを無くすに
は、「ECHO OFF」を表示させます。

ご注意

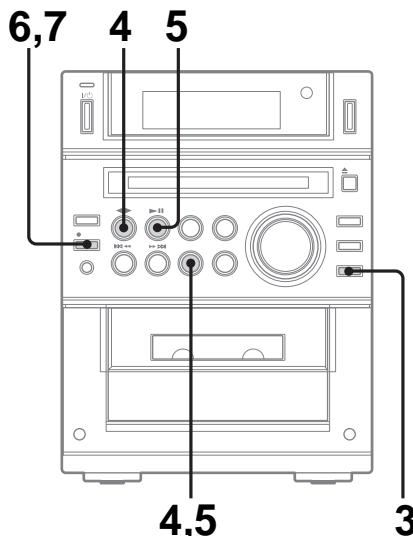
- ・モノラル音声で録音された音源の場合は、ボーカルの音量とともにサウンドも小さくなることがあります。
- ・次の場合は、再生中ボーカルの音量は小さくなりません。
 - ボーカルの無い(演奏のみの)曲
 - デュエット曲
 - エコーやコーラスが強調された曲
 - ボーカルの音声が左右どちらかのスピーカーに偏っている曲
 - ボーカルの音声が高音または中音域の曲
- ・次の場合は、カラオケは解除されますがマイクの音量の設定はそのまま残ります。
 - ディスクを変えたとき
 - ファンクションを変えたとき
- ・曲によっては、「KARA PON」を選択してもボーカルの音量が小さくならないことがあります。
- ・録音中はカラオケは使用できません。

ちょっと一言

- ・DVDまたはビデオCDを再生する場合は、あらかじめテレビの電源を入れ、テレビの入力切り換えてディスクの映像が映るようにしておきます。
- ・本体でマイクの音量とエコーを調節するには、マイク/エコーをくり返し押して「MIC X」(音量調節)または「ECHO X」(エコー調節)を表示させ、◀◀または▶▶をくり返し押して調節します。

カラオケを録音する

マイクの音声を他の音源の音と合わせて録音することができます。



1 録音したい音源を準備する

2 録音用のテープを入れる

3 リバースモードをくり返し押して、片面録音(←→)か両面録音(←→または↔↔)を選ぶ

4 TAPE◀▶をくり返し押して録音を始める面を選び、■停止を押す

両面またはおもて面を録音するときは▶を表示させます。うら面のみを録音するときは◀を表示させます。

5 録音したい音源のファンクションにする

本機のディスクの音を録音する場合は、DVD/CD▶■を押してから■停止を2回押して再生を止めます。

6 ●録音一時停止/スタートを押す

テープが録音一時停止になり、「REC」が点滅します。

7 ●録音一時停止/スタートを押してから録音したい音源の再生を始める

録音が始まります。マイクに音声を吹き込みます。

録音を止める

■停止を押す。

ちょっと一言

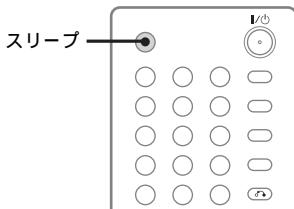
- 雑音が多いときは、マイクをスピーカーから離し、マイクの向きを変えます。
- マイクの音声のみ録音したい場合は、ディスクを入れてDVDファンクションを選び、手順7でディスクの再生を始めずにマイクに音声を吹き込みます。

タイマー

音楽を聞きながら眠る

(スリープタイマー)

指定した時間がたつと、自動的に電源が切れます。時間は10分単位で設定できます。



スリープを押す

押すたびに時間が次のように変わり、しばらくすると元の表示に戻ります。表示された時間がたつと、電源が切れます。

→ SLEEP OFF (スリープ解除) → AUTO* →
10 ← ... ← 80 ← 90 ←

* 100分たつと電源が切れます。また、再生中のディスクやテープが終了すると、自動的に電源が切れます。

その他の操作

こんなときは	操作
残り時間を確認する*	スリープを1回押す。
途中で時間を変える	スリープをくり返し押して、時間を選び直す。
スリープタイマーを解除する	スリープをくり返し押して、「SLEEP OFF」を表示させる。

* AUTOに設定しているときは確認できません。

ご注意

テープにシンクロ録音するときは「AUTO」に設定しないでください。

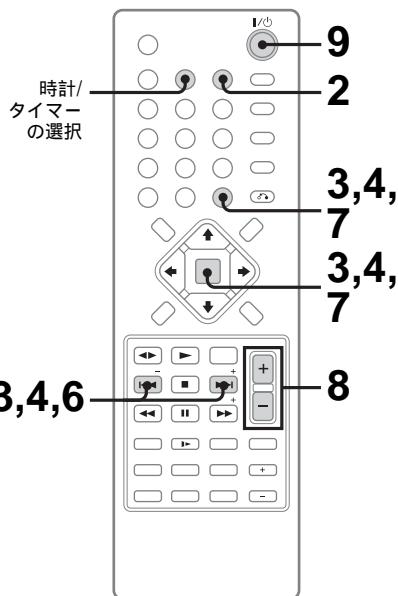
ちょっと一言

スリープタイマーは、時計合わせをしていなくても使用できます。

目覚ましとして使う

(再生タイマー)

毎日指定した時刻に自動的に電源が入り、切れるように設定できます。操作の前に、時計を合わせておきます(12ページ)。



1 CDなどの音源を準備する

- DVDやCD: ディスクを入れる。
- テープ: カセットテープを入れる。
- ラジオ: プリセット受信する(33ページ)

2 時計/タイマーの設定を押す

3 ◀◀または▶▶をくり返し押して「PLAY SET」を表示させ、決定を押す

「ON」が点灯し、「時」が点滅します。

4 開始時刻を合わせる

◀◀または▶▶をくり返し押して「時」を合わせ、決定を押す。

「分」が点滅します。

◀◀または▶▶をくり返し押して「分」を合わせ、決定を押す。

再び「時」が点滅します。

5 終了時刻を合わせる

手順5と同じ操作をして「時」「分」を合わせると、次に音源が表示されます。

6 ◀◀または▶▶をくり返し押して、音源を選ぶ 押すたびに、次のように変わります。



7 決定を押す

タイマーの種類('PLAY TIMER')と開始時刻、終了時刻、音源が順に表示され、元の表示に戻ります。

8 音量+または-を押して音量を調節する

9 電源を切る

設定を変更する

手順1からやり直す。

設定を確認する

1 時計/タイマーの選択を押す。

2 ◀◀または▶▶を押して「PLAY SELECT」を表示させ、決定を押す。

タイマーを解除する

- 1 時計/タイマーの選択を押す。
- 2 ▶◀または▶▶をくり返し押して「TIMER OFF」を表示させ、決定を押す。

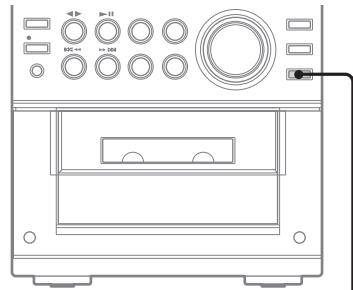
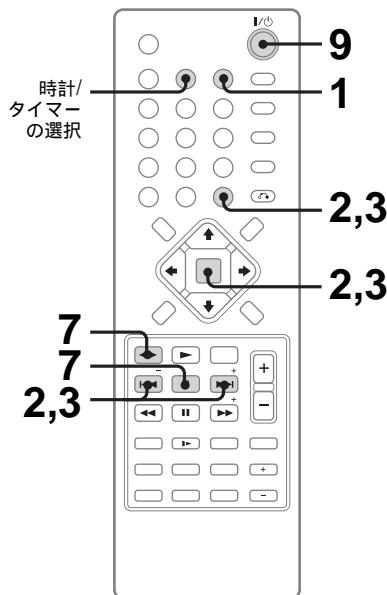
ご注意

- 録音タイマーと同時には使用できません。
- スリープタイマーを同時に使用した場合は、終了時刻が早い方の設定が優先されます。
- 電源は開始時刻の約15秒前に自動的に入ります。電源が入ってから開始時刻になるまでは、何も操作しないでください。タイマーが正しく働かなくなることがあります。
- 開始時刻の約15秒前にすでに電源が入っていると再生タイマーは働きません。
- MD IN入力端子につないだ機器は再生タイマーの音源としては使用できません。

タイマーを使って録音する

(録音タイマー)

本機のラジオからタイマー録音ができます。あらかじめラジオ局を記憶させ(31ページ)、時計を合わせておきます(12ページ)。



1 時計/タイマーの設定を押す

2 ◀◀または▶▶をくり返し押しして「REC SET」を表示させ、決定を押す
 「ON」が点灯し、「時」が点滅します。

3 開始時刻を合わせる

◀◀または▶▶をくり返し押しして「時」を合わせ、決定を押す。
 「分」が点滅します。
 ◀◀または▶▶をくり返し押しして「分」を合わせ、決定を押す。
 再び「時」が点滅します。

4 終了時刻を合わせる

手順4と同じ操作をして「時」「分」を合わせます。

タイマーの種類(「REC TIMER」と開始時刻、終了時刻、「TUNER REC」)が順に表示され、元の表示に戻ります。

5 録音用のテープを入れる

6 リバースモードをくり返し押して、片面録音(↔)か両面録音(⇄または⇄⇄)を選ぶ

7 TAPE◀▶をくり返し押して録音を始める面を選び、■停止を押す

両面またはおもて面を録音するときは▶を表示させます。うら面のみを録音するときは◀を表示させます。

8 録音したいラジオ局をプリセット受信する(33ページ)

9 電源を切る

設定を変更する

手順1からやり直す。

設定を確認する

1 時計/タイマーの選択を押す。
 2 ◀◀または▶▶をくり返し押して「REC SELECT」を表示させ、決定を押す。

タイマーを解除する

1 時計/タイマーの選択を押す。
 2 ◀◀または▶▶をくり返し押して「TIMER OFF」を表示させ、決定を押す。

ご注意

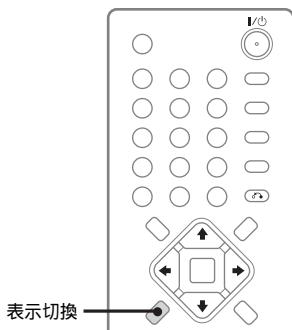
- 再生タイマーと同時に使用できません。
- スリープタイマーを同時に使用したときは、終了時刻が早い方の設定が優先されます。
- 電源は開始時刻の約15秒前に自動的に入ります。電源が入ってから開始時刻になるまでは、何も操作しないでください。タイマーが正しく働かなくなることがあります。
- 開始時刻の約15秒前にすでに電源が入っていると、録音タイマーが働かず録音されません。
- 録音中、ボリュームは最小になります。
- 再生タイマーの音源をテープにしているとき、同時に録音タイマーを設定すると、テープに録音されることがありますのでご注意ください。

表示

表示窓の表示を消す

(節電モード)

表示窓の時計表示を消して、電源を切った状態での消費電力を最低限におさえることができます(節電モード)。



電源を切った状態で表示切換をくり返し押して、時計表示を消す
節電モードに切り換わります。

節電モードを解除する

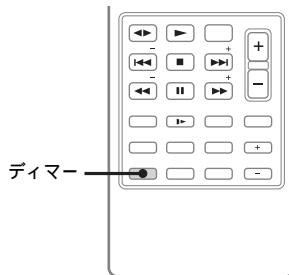
電源を切った状態で、表示切換をくり返し押す。押すたびに表示窓が次のように切り換わります。

時間表示 ↔ 非表示(節電モード)

ちょっと一言

節電モード時も、タイマーは働きます。

表示窓の明るさを変える



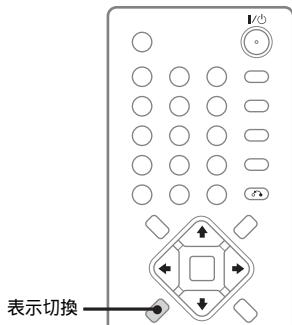
ディマーをくり返し押す

押すたびに明るさが次のように変わります。
DIMMER OFF → DIMMER 1 →
DIMMER 2*

*「DIMMER 1」より「DIMMER 2」のほうが暗い設定です。

表示窓を使って残り時間などを見る

ディスク全体または1つのチャプターやトラック（曲）の残り時間を見たり、ラジオの受信情報を見たりできます。

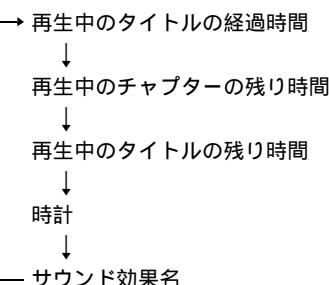


ディスクの経過時間や残り時間を見る

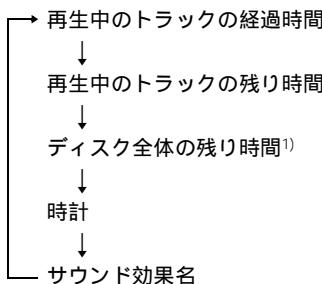
再生中に表示切換を押す

押すたびに次のように変わります。

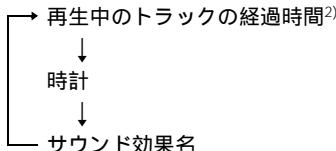
DVD再生中



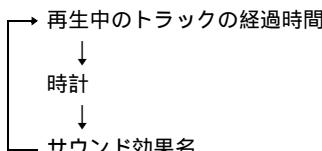
ビデオCD (PBC再生非対応) / CD再生中



ビデオCDをPBC再生中

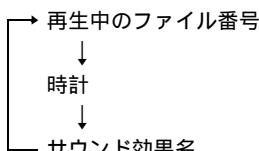


MP3再生中



表示

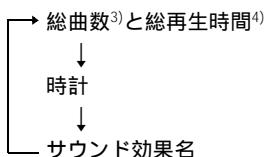
JPEG再生中



[次のページへつづく](#)

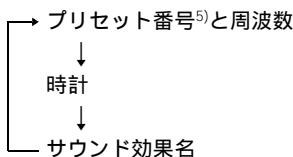
ディスクの総再生時間を見る

停止中に表示切換を押す
押すたびに次のように変わります。



受信情報を見る（ラジオ）

受信中に表示切換を押す
押すたびに次のように変わります。



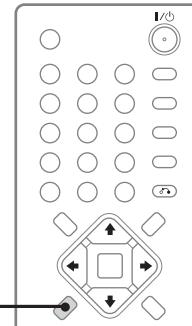
- 1) シャッフル再生やプログラム再生中は表示されません。
- 2) 静止画のときは表示されません。
- 3) DVDのときは総タイトル数が表示されます。
- 4) ビデオCD、CDのみ
- 5) プリセット受信のときのみ表示されます。

ご注意

DVDによっては時間が表示されない場合や、表示を変えられない場合があります。

画面を使って経過時間と残り時間を見る

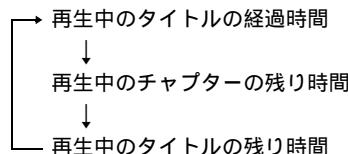
再生中のタイトルやチャプター、トラックの経過時間と残り時間を見ることができます。



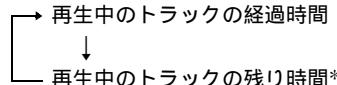
表示切換を押す

押すたびに次のように変わります。

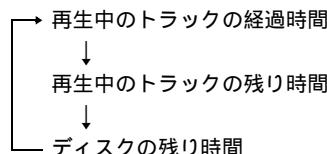
DVD再生中



ビデオCD再生中



CD再生中



MP3再生中

再生中のトラックの経過時間

JPEG再生中

再生中のファイル番号と総ファイル数

* PBC再生をしていないとき

画面表示を消す

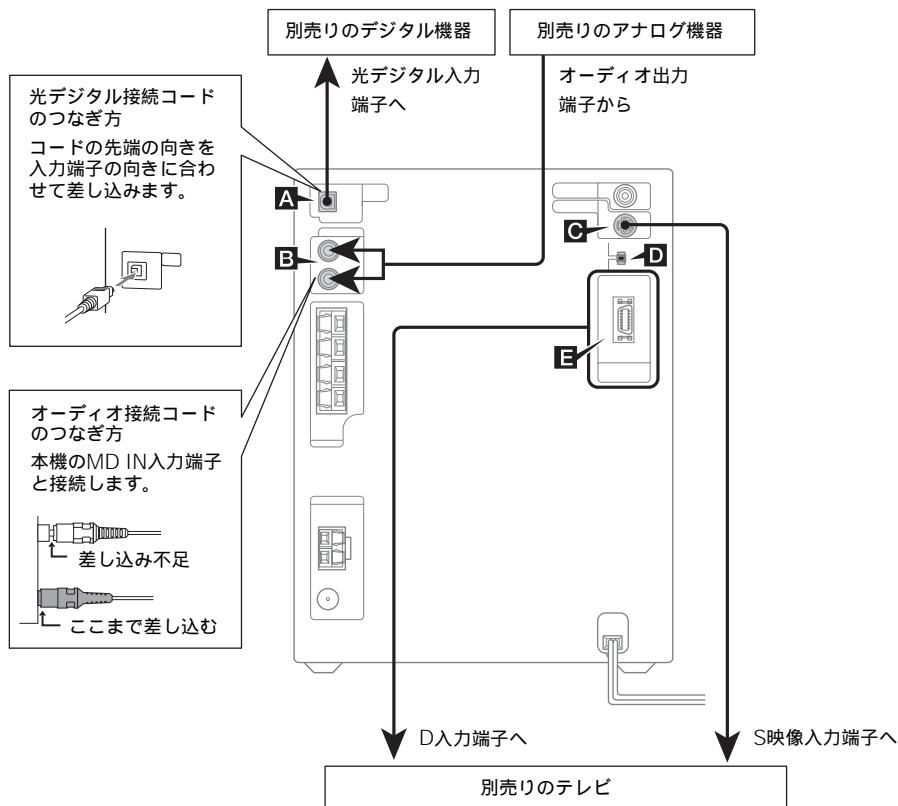
画面表示が消えるまで表示切換を押す。

表示

別売りの機器を使う

別売り機器をつなぐ

つなぐ機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。



A DIGITAL OUT (OPTICAL) 出力端子

光デジタル接続コード（角形、別売り）を使って、MDデッキやDATデッキなどをつなぎます。本機のファンクションがDVDの時に、音声出力されます。また、ドルビーデジタルまたはDTSデコーダー付AVアンプの光デジタル入力端子と接続して、アンプの機能を使った5.1ch（チャンネル）の音声を楽しむことができます。

ビデオCD、MP3などのディスクやテープ、ラジオ、MD IN端子につないだ機器の音声は出力されません。

ご注意

- コピーが禁止されているディスクの場合、本機につないだデジタル機器を使ってデジタル録音することはできません。また、つなぐ機器によって再生できない場合があります。
- DVDのリニアPCM出力は、再生するディスクにかかわらず48kHzのサンプリング周波数で出力されます。
- ドルビーデジタルまたはDTSに対応していない光デジタル入力端子につないでドルビーデジタルまたはDTS音声をピットストリーム出力すると、つないだ機器から雑音が出る場合があります。

B MD IN入力端子

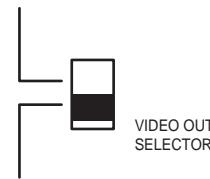
オーディオ接続コード（別売り）を使って、別売り機器（カセットデッキ、レコードプレーヤーなど）をつなぎます。本機でアナログ音声を録音したり、聞いたりできます。

C S VIDEO OUT端子

S映像入力端子付きのテレビをお使いのときは、S映像コード（別売り）を使ってつなぐと、さらに鮮明な画像が楽しめます。本機とテレビをつないだ後、本機の電源が切れた状態で本体のVIDEO OUT SELECTORをS VIDEO OUTに設定します。

D VIDEO OUT SELECTOR

つないだテレビの端子に合わせて切り換えます。



E COMPONENT VIDEO OUT D1端子

D映像入力端子付きのテレビをお使いのときは、D映像コード（別売り）を使ってつなぐと、映像本来の色が楽しめます。本機とテレビをつないだ後、本機の電源が切れた状態で本体のVIDEO OUT SELECTORをCOMPONENT VIDEO OUTに設定します。

別売り機器の音を本機のスピーカーで聞く

- 1 オーディオ接続コードをつなぐ
「別売り機器をつなぐ」(50ページ)をご覧ください。
- 2 MDを押してファンクションをMDに切り換える
別売り機器の再生を始めてください。

ちょっと一言

イコライザーアンプが内蔵されていないレコードプレーヤーを接続するときは、本機とプレーヤーの間に、MM型またはMC型に対応のカートリッジイコライザー(別売り)をつないでください。

イコライザーアンプが内蔵されているかどうかや、MM型かMC型かについては、お使いになっているプレーヤーの製造元へお問い合わせください。

別売りのアンプをつないで5.1chを楽しむ

- 1 光デジタル接続コードをつなぐ
「別売り機器をつなぐ」(50ページ)をご覧ください。
- 2 デコーダー付AVアンプに6台のスピーカーをつなぐ
スピーカーの配置については、つなぐアンプの取扱説明書もあわせてご覧ください。
- 3 停止中にDVDセットアップを押す
設定画面が表示されます。
- 4 \leftarrow/\rightarrow で「AV」を選び、決定を押す
- 5 \uparrow/\downarrow で「Dolby Digital」または「DTS」を選び、決定を押す
- 6 \uparrow/\downarrow で「ビットストリーム」を選び、決定を押す
- 7 DVDセットアップを押して設定を終了する
- 8 5.1chドルビーデジタル音声、または5.1ch DTS音声を出力する
「音声を切り換える」(24ページ)をご覧ください。

ちょっと一言

「Dolby Digital」または「DTS」で「ピットストリーム」が選ばれているときは、付属のスピーカーや本機につないだヘッドホンから音声は出力されません。

別売り機器と本機を使って録音する

本機で録音する

- 1** オーディオ接続コードをつなぐ
「別売り機器をつなぐ」(50ページ)をご覧ください。
- 2** マニュアル録音をする
「好きなところから録音する」(36ページ)をご覧ください。

別売り機器で録音する

CDまたはDVDの音声がリニアPCMの場合、デジタル接続ケーブル(角型、別売り)を使って、DIGITAL OUT(OPTICAL)出力端子と別売りのデジタル機器の光デジタル入力端子を接続することによって、本機からDATデッキやMDデッキなどへデジタル録音できます。

つなぐデジタル機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。

- 1** 光デジタル接続コードをつなぐ
「別売り機器をつなぐ」(50ページ)をご覧ください。
- 2** DVD/CD▶(または本体のDVD/CD▶▶)を押してファンクションをDVDに切り換える
- 3** 停止■を2回押して再生を止める

4 つないだデジタル機器の録音を始める

5 DVD/CD▶ (または本体のDVD/CD▶■) を押して再生を始める

ご注意

- ・デジタル録音できるのは、ディスクからのみです。ただし、次の場合デジタル録音をすることはできません。
 - コピーが禁止されているDVD
 - ドルビーデジタルまたはDTSがピットストリーム出力のDVD
 - 音楽用フォーマットで記録されたCD-R/CD-RW*
- * つないだデジタル機器で再生はできます。
- ・「AV」の「Dolby Digital」または「DTS」で「ピットストリーム」が選ばれているときは、デジタル録音できません。「PCM」に設定し直してください(27ページ)。

市販の外部アンテナをつなぐ

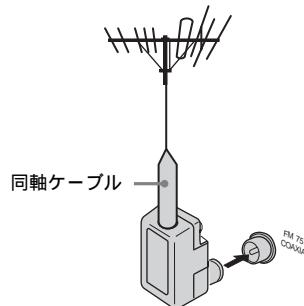
付属のアンテナでうまく受信できないときにつなぎます。

FMアンテナをつなぐ

市販のFM屋外アンテナを、市販の75Ω同軸ケーブルを使ってつなぎます。

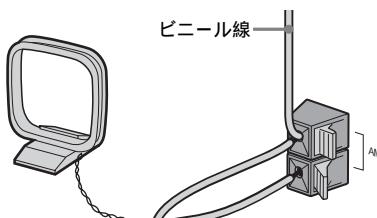
同軸ケーブルを使うと、雑音の影響を受けにくくなります。同軸ケーブルは3C-2Vが適当です。

屋外アンテナの購入、取り付けについては、本機をお買い上げいただいた販売店へご相談ください。



AMアンテナをつなぐ

市販の6~15mのビニール線を、窓際や屋外になるべく高く水平に張ります。付属のAMループアンテナはつないだままにしておきます。



症状と原因

修理に出す前に、以下の手順にしたがって点検してください。表示窓にメッセージが表示されているときは、「メッセージ一覧」(64ページ)をご覧ください。表示窓に何も表示されないときは、次の表を読んでもう一度点検してください。それでも正常に動作しないときは、お買い上げ店またはソニーサービス窓口、アイワお客様ご相談センターにお問い合わせください。

共通

症状	原因と対応のしかた
I/O(電源)のインジケーターが点滅している	<p>→ すぐに電源コードを抜き、以下の項目を点検する。</p> <ul style="list-style-type: none"> •スピーカーコードがショートしていないか? •付属のスピーカーを接続しているか? •本機背面の通風孔を障害物などでふさいでいないか? <p>インジケーターの点滅が止まったときは、電源コードを接続して電源を入れます。</p> <p>まだインジケーターが点滅している、または上記の項目を全て確認しても原因が見つからないというときは、お近くのソニーサービス窓口にご相談ください。</p>
「- - : - -」が表示される	<p>電源コードを抜いた、または停電などにより、時計の設定が解除されている。</p> <p>→ 時計を設定し直す(12ページ)</p>
音が出ない	<p>ボリュームが小さい。</p> <p>→ 音量+を押す(または本体の音量つまみを時計回りに回す)</p> <p>ヘッドホンを差したものになっている。</p> <p>→ ヘッドホンを抜く。</p> <p>スピーカーが正しく接続されていない。</p> <p>→ スピーカーコードを正しく接続し直す(9ページ)</p> <p>録音タイマー中は音声は出力されません。</p> <p>消音機能が働いている。</p> <p>→ 消音または音量+を押して(または本体の音量つまみを時計回りに回して)、消音機能を解除する。</p> <p>設定画面の「AV」の「Dolby Digital」または「DTS」で「ビットストリーム」が選ばれている。</p> <p>→ 「Dolby Digital」または「DTS」で「PCM」を選ぶ(27ページ)</p>

症状	原因と対応のしかた
音がおかしい	<p>左右のスピーカーの高さ、距離が極端に違う。</p> <p>→ 高さ、距離をできるだけ対称にする。</p> <p>モノラル音声で再生している。</p> <p>→ モノラル音声を解除する。</p> <p>付属のスピーカー以外のスピーカーをつないでいる。</p> <p>→ 付属のスピーカーをつなぐ。</p>
雑音が多い	<p>テレビやビデオなど、ノイズを出す機器の近くに設置している。</p> <p>→ 離れたところに設置する。</p> <p>冷蔵庫など、ノイズを出す機器と同じ電源コンセントにつないでいる。</p> <p>→ 別の電源コンセントにつなぐ。</p> <p>→ 電源ラインのノイズフィルター（市販）を使用する。</p>
タイマーが設定できない	<ul style="list-style-type: none"> • 時計が設定されていない。 • 停電などにより、時計の設定が解除された。 → 時計を設定し直す（12ページ）
タイマーが働くかない	<p>電源を切る前にタイマーが働くように設定していなかった。</p> <p>→ タイマーが働くように設定する（43、44ページ）</p> <p>誤った時間が設定されている。</p> <p>→ 設定内容を確認し、正しい時間を設定する（43、44ページ）</p> <p>スリープタイマーが働いている。</p> <p>→ スリープタイマーを解除する（42ページ）</p>
リモコンで操作できない	<p>リモコンと本体の間に障害物がある。</p> <p>→ 障害物を取り除く。</p> <p>リモコンと本体の距離が離れすぎている。</p> <p>→ 近寄って操作する。</p> <p>リモコンの発光部が本体の方を向いていない。</p> <p>→ リモコンを本体に向ける。</p> <p>リモコンの乾電池が消耗している。</p> <p>→ 乾電池（単3）を交換する。</p> <p>本体の近くにインバーター方式の蛍光灯がある。</p> <p>→ 本体と蛍光灯を離して設置する。</p>

DVD・ビデオCD・CD・MP3・JPEG

症状	原因と対応のしかた
ディスクトレイが開かず、 「LOCKED」と表示される	<p>ディスクトレイが固定されている。</p> <p>→ お買い上げ店またはお近くのソニーサービス窓口にご相談ください。</p>

症状	原因と対応のしかた
ディスクトレイが閉まらない	<p>ディスクがトレイの中央に入っていない。 → トレイの中央にディスクを入れ直す。</p> <p>ディスクトレイを無理に押し込もうとした。 → トレイは必ず本体の▲DVD/CDを押して閉める。手で押し込もうとすると、故障の原因になります。</p>
ディスクが出てこない	<p>レンタルディスクや中古ディスクなどで、シールなどからのりがはみ出したり、のりが付着したディスクを入れたため、ディスクが内部に貼り付いている、または貼りついたディスクが内部に落ちて挟まっている。 → お近くのソニーサービス窓口にご相談ください。</p> <p>ディスクを入れたまま、本機を移動するなどの振動を与えたため、ディスクが内部に挟まった。 → お近くのソニーサービス窓口にご相談ください。</p> <p>シンクロ録音をしている。 → シンクロ録音を止めてから、本体の▲DVD/CDを押す。</p>
再生が始まらない	<p>ディスクが入っていない。 → ディスクトレイを開けて、ディスクが入っているか確認する。</p> <p>ディスクの汚れ（油膜、指のあとなど）がひどい。 → 汚れを拭き取る（6ページ）。</p> <p>ディスクの傷がひどい。 → ディスクを交換する。</p> <p>再生しようとしているディスクが規格外の大きさ、形状、記録方式である。 → ディスクを交換する。</p> <p>本機で再生できないディスクを入れている（6ページ）。</p> <p>ディスクがずれて入っている。 → ディスクを正しく入れ直す。</p> <p>ディスクが裏返しに入っている。 → 印刷面を上にして、ディスクトレイに入れ直す。</p> <p>本機内部のレンズ、または入れたディスクが結露している。 → ディスクを取り出してディスクの水分を拭き取り、本機の電源を入れたまま数時間待つ。</p> <p>ディスクが再生状態になっていない。 → DVD/CD▶（または本体のDVD/CD▶II）を押し、再生状態にする。</p> <p>本機で再生できない地域番号のDVDを入れている。 → 地域番号に「All」または「2」が含まれているDVDのみ再生できます。</p> <p>視聴年齢制限が働いている。 → 視聴年齢制限を解除する（29ページ）。</p>

症状	原因と対応のしかた
MP3が再生できない	<p>ISO9660レベル1、レベル2、Jolietに準拠して記録されていない。</p> <p>→ 準拠しているディスクを使用する。</p> <p>MP3ファイルに拡張子が付いていない。</p> <p>→ 記録した機器で拡張子「.MP3」を付ける。</p> <p>MP3ファイル以外に拡張子「.MP3」を付けている。</p> <p>→ 本機はMP3PROで記録されたファイルには対応していません。</p> <p>設定画面の「AV」の「データCD優先モード」で「JPEG」が選ばれている。</p> <p>→ ディスクを取り出して、「データCD優先モード」で「MP3」を選ぶ(27ページ)。</p> <p>ディレクトリレベルが15階層を超えている。</p> <p>→ サポートされるディレクトリの深さは、15階層までです。</p> <p>本機はビットレート32~320 kbpsとMP3 (MPEG1 Audio Layer3) 形式のサンプリング周波数32/44.1/48 kHzで記録されたMP3トラックに対応しています。</p>
JPEGが再生できない	<p>ISO9660レベル1、レベル2、Jolietに準拠して記録されていない。</p> <p>→ 準拠しているディスクを使用する。</p> <p>JPEGファイルに拡張子が付いていない。</p> <p>→ 記録した機器で拡張子「.JPG」または「.JPEG」を付ける。</p> <p>JPEGファイル以外に拡張子「.JPG」または「.JPEG」を付けている。</p> <p>設定画面の「AV」の「データCD優先モード」で「MP3」が選ばれている。</p> <p>→ ディスクを取り出して、「データCD優先モード」で「JPEG」を選ぶ(27ページ)。</p> <p>ディレクトリレベルが15階層を超えている。</p> <p>→ サポートされるディレクトリの深さは、15階層までです。</p>
音とびがする	<p>ディスクの汚れ（油膜、指のあとなど）がひどい。</p> <p>→ 汚れを拭き取る(66ページ)。</p> <p>ディスクの傷がひどい。</p> <p>→ ディスクを交換する。</p> <p>再生しようとしているディスクが規格外の大きさ、形状、記録方式である。</p> <p>→ ディスクを交換する。</p> <p>本機に振動が加わっている。</p> <p>→ 振動のない場所（安定した台の上など）に設置してみる。</p> <p>→ スピーカーと本機を離す、または別々の台の上に設置してみる。</p> <p>低音の効いた曲を大音量でお聞きになっている場合、スピーカーの振動により音とびしている可能性があります。</p>

症状	原因と対応のしかた
再生が1曲目から始まらない	プログラム再生、またはシャッフル再生になっている。 → 停止中に再生モードをくり返し押して、表示窓の「PGM」または「SHUF」を消し、ノーマル再生に戻す。
リピート再生になっている。 → 停止中に、停止■を押してから再生を始める（16ページ） 自動的にタイトルメニュー、DVDメニュー、PBCのメニューの画面表示されるディスクが入っている。 → メニューにしたがって、再生を進める。	

DVDのみ

症状	原因と対応のしかた
音が出ない	設定画面の「AV」の「Dolby Digital」または「DTS」で「ピットストリーム」が選ばれている。 → 「Dolby Digital」または「DTS」で「PCM」を選ぶ（27ページ）
再生が自動的に始まる	自動的に再生が始まるDVDが入っている。 → ディスクに付属の説明書もあわせてご覧ください。
再生が自動的に止まる	オートポーズ信号が記録されているDVDを再生している。 → オートポーズ信号のところで自動的に再生が止まります。ディスクに付属の説明書もあわせてご覧ください。
ストップ、サーチ、スロー、 リピート再生、シャッフル再生、 プログラム再生などの操作がで きない	操作を禁止しているDVDを再生している。 → ディスクに付属の説明書もあわせてご覧ください。
ステレオ音声が出力されない	カラオケをしている。 → カラオケを解除する（39ページ）
希望する言語で画面表示されない	設定画面の「言語設定」の「画面表示言語」で希望する言語が選ばれていない。 → 「画面表示言語」で希望の言語を選ぶ（26ページ）
音声言語を変更できない	再生しているDVDに複数の音声言語が記録されていない、または音声言語の切り換えを禁止しているDVDを再生している。 → ディスクに付属の説明書もあわせてご覧ください。
字幕を変更できない	再生しているDVDに複数の字幕が記録されていない、または字幕の変更を禁止しているDVDを再生している。 → ディスクに付属の説明書もあわせてご覧ください。
字幕を消すことができない	字幕表示を消すことを禁止しているDVDを再生している。 → ディスクに付属の説明書もあわせてご覧ください。
アングルを変更して見ることがで きない	再生しているDVDに複数のアングルが記録されていない、またはアングルの変更を禁止しているDVDを再生している。 → ディスクに付属の説明書もあわせてご覧ください。

症状	原因と対応のしかた
映像が出ない	<p>ファンクションが「DVD」になっていない。</p> <p>→ DVD/CD▶（または本体のDVD/CD▶▶）を押して、「DVD」に切り換える。</p>
	<p>本機の映像出力を、ビデオデッキを経由してテレビにつないでいると、一部のDVDプログラムに使用されているコピー・プロテクション信号が画質に悪影響を及ぼす可能性がある。</p> <p>→ 本機をテレビに直接つなぐ。それでも画質に問題が生じる場合は、テレビのS映像入力端子へ接続し、本機の電源が切れた状態で本体のVIDEO OUT SELECTORをS VIDEO OUTに設定する（50ページ）。</p>
	<p>付属の映像接続コード以外のコードを使用している。</p> <p>→ 付属の映像接続コードを使用する。</p>
	<p>映像接続コードのプラグがしっかりと差し込まれていない。</p> <p>→ 映像接続コードをしっかりと接続し直す。</p>
	<p>映像接続コードが断線している。</p> <p>→ 新しい映像接続コードと交換する。</p>
	<p>テレビの入力端子を間違えている。</p> <p>→ 映像接続コードを正しく接続し直す（10ページ）。</p>
	<p>テレビの電源が入っていない。</p> <p>→ 電源を入れる。</p>
	<p>テレビの入力切り換えで本機の映像が映るようにしていな。</p> <p>→ テレビの説明書を見て、入力を切り換える。</p>
映像が乱れる	<p>ディスクに汚れ（油膜、指のあとなど）がひどい。</p> <p>→ 汚れを拭き取る（66ページ）。</p>
	<p>ディスクの傷がひどい。</p> <p>→ ディスクを交換する。</p>
設定画面の「AV」の「TVタイプ」で設定した画像の形で再生できない	<p>画像の形が固定されているDVDを再生している。</p> <p>→ ディスクに付属の説明書もあわせてご覧ください。</p>
	<p>本機をS映像入力端子と直接つないでいる。</p> <p>→ 本機をテレビに直接つなぐ。</p>
	<p>画像の形を変更できないテレビをつないでいる。</p> <p>→ テレビに付属の説明書もあわせてご覧ください。</p>

チューナー（ラジオ）

症状	原因と対応のしかた
雑音に入る/受信できない（「TUNED」または「STEREO」が点滅する）	<p>放送局のバンド（FM/AM）、周波数が合っていない。</p> <p>→ バンドと周波数を正しく設定する（31ページ）。</p> <p>アンテナが正しく接続されていない。</p> <p>→ 正しく接続し直す（9ページ）。</p>

症状	原因と対応のしかた
雑音が入る/受信できない (「TUNED」または「STEREO」が点滅する)	<ul style="list-style-type: none"> アンテナが受信状態のよい場所に設置されていない。 → 受信状態のよい場所(窓の外など)や方向を探し、設置し直す(10ページ)。 電波が弱い。 鉄筋、鉄骨造りのマンションなどの場合、付属のFM簡易アンテナでは十分に受信できない場合があります。窓の外に設置しても受信状態がよくならない場合は、市販の外部アンテナをつなぐことをおすすめします(54ページ)。 <p>アンテナの一部分を折りたたむ、束ねる、巻き取るなどしている。</p> <ul style="list-style-type: none"> 付属のFM簡易アンテナは全体で受信しているため、余分に感じる部分もそのまま垂らしておく(10ページ)。 付属のFM簡易アンテナの先は、テープなどで壁にとめる(10ページ)。 <p>アンテナの一部分をスピーカーコードといっしょに束ねている。</p> <ul style="list-style-type: none"> スピーカーコードからできるだけ離す。 <p>付属のAMアンテナのアンテナ線がプラスチックスタンドからはずれている。</p> <ul style="list-style-type: none"> お近くのソニーサービス窓口へご相談ください。 <p>電気器具の影響を受けている。</p> <ul style="list-style-type: none"> 電気器具の電源を切ってみる。
ステレオにならない	<p>モノラル受信の設定になっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> FMモードをくり返し押して「MONO」を消灯させる。 <p>AM放送を受信している。</p> <ul style="list-style-type: none"> 本機ではAM放送をステレオ受信しません。 <p>受信状態が悪い。</p> <ul style="list-style-type: none"> 症状「雑音が入る/受信できない」を参照し、アンテナの状態を確認する。

テープ

症状	原因と対応のしかた
再生音や録音した音が小さい	<p>ヘッドが汚れている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ヘッドのお手入れをする(66ページ)。 <p>ヘッドが磁化している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ヘッドを消磁する(66ページ)。
前の録音が完全に消えない	<p>ヘッドが磁化している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ヘッドを消磁する(66ページ)。
音がとぎれる	<p>内部のピンチローラーなどが汚れている。</p> <ul style="list-style-type: none"> 市販のクリーニングカセットを使って、お手入れする。
雑音が多い	<p>ヘッドが磁化している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ヘッドを消磁する(66ページ)。

症状	原因と対応のしかた
録音できない	<p>テープが入っていない。</p> <p>→ テープを入れる。</p> <p>テープのツメが折れている。</p> <p>→ ツメの部分だけ穴をふさぐ(66ページ)。</p> <p>テープが最後まで巻きとられている。</p> <p>→ テープを巻き戻す。</p> <p>設定画面の「AV」の「Dolby Digital」または「DTS」で「ピットストリーム」が選ばれている。</p> <p>→ 「Dolby Digital」または「DTS」で「PCM」を選ぶ(27ページ)</p>
「TAPE ERR」が表示される	<p>→ 電源を切ってからテープを取り出し、電源コードを接続し直してから電源を入れる。それでも表示が消えない場合は、お近くのソニーサービス窓口へご相談ください。</p>

別売り機器

症状	原因と対応のしかた
音が出ない	<p>本機が正しい状態になっていない。</p> <p>→ 共通「音が出ない」を参照し、本機の状態を確認する。</p> <p>別売りの機器が正しく接続されていない。</p> <p>→ 以下の点を確認しながら正しく接続し直す(50ページ)</p> <ul style="list-style-type: none"> • 接続コードが正しい位置に接続されているか。 • 接続コードのコネクターがしっかり奥まで差し込まれているか。 <p>つないだ機器の電源が入っていない。</p> <p>→ 電源を入れる。</p>
音が歪む	<p>つないだ機器での再生が始まっていない。</p> <p>→ つないだ機器の説明書を見て、再生を始める。</p> <p>ファンクションが「MD」になっていない。</p> <p>→ MDを押してファンクションをMDに切り換える。</p> <p>MD IN入力端子につないだ機器からのアナログ録音中に、規定以上の大きな信号が入ってきた。</p> <p>→ 本機へ入力される音を小さくする。</p>
本機のCD/DVDプレーヤーの音を、DIGITAL OUT (OPTICAL) 出力端子につないだ別売り機器で正しくデジタル録音できない	<p>→ 先にDIGITAL OUT (OPTICAL)出力端子につないだ別売り機器の録音を始めてから、本機の再生を始める。</p>
レコードプレーヤーからの音が小さい	<p>レコードプレーヤーを直接つないでいる。</p> <p>→ つないでいるレコードプレーヤーに、イコライザーが内蔵されているか確認する。内蔵されていないときは、本機とプレーヤーの間に、イコライザー(別売り)をつなぐ。</p>

これらの処置をしても正常に動作しないときは リセット

- 1 電源コードを抜く。
- 2 電源コードを入れる。
- 3 本体の■停止、リバースモード、DVD/CD▶▶▶を同時に押す。
- 4 I/□を押して電源を入れる。

DVD以外の設定がリセットされてお買い上げ時の状態に戻ります。ラジオ局のプリセットや時計合わせ、タイマー設定をやり直してください。

DVDの設定をお買い上げ時の状態*に戻すときは リセット

- 1 停止中にDVDセットアップを押す。
- 2 ←/→で「リセット」を選び、決定を押す。
- 3 ←/→で「はい」を選び、決定を押す。

リセットが完了するまで数秒かかります。リセット中はI/□(電源)を押して、電源を切らないでください。

* 視聴年齢制限は除く

メッセージ一覧

使用中、状況によって英語のメッセージを表示します。意味は以下の通りです。

DVD・ビデオCD・CD・MP3・JPEG

メッセージ	原因と対応のしかた
CAN'T PLAY	本機で再生できないディスクを入れている（6ページ） → ディスクを交換する。
	本機で再生できない地域番号のDVDを入れている。 → 地域番号に「All」または「2」が含まれているDVDのみ再生できます。
NO DISC	ディスクが入っていない。
NOT IN USE	使用できないボタンを押した。

テープ

メッセージ	原因と対応のしかた
NO TAB	誤消去防止ツメが折れているため、録音できない。 → A、B両面のツメの部分だけ穴をふさぐ（66ページ）。
NO TAPE	テープが入っていない。
TAPE ERR	テープにエラーが生じた。

使用上のご注意

結露について

部屋の暖房を入れた直後など、内部のレンズに水滴がつくことがあります。これを結露といいます。このときは、正常に動作しないばかりでなく、ディスクや部品を傷めることができます。本機を使わないときは、ディスクを取り出しておいてください。結露が生じたときは、ディスクを取り出して、電源を入れたまま約30分放置し、再び電源を入れ直してからお使いください。もしも時間たっても正常に動作しないときは、ソニーサービス窓口にご相談ください。

設置場所について

次のような場所には置かないでください。

- ・ぐらついた台の上や不安定な所。
- ・じゅうたんや布団の上。
- ・湿気の多い所、風通しの悪い所。
- ・ほこりの多い所。
- ・直射日光が当たる所、温度が高い所。
- ・極端に寒い所。
- ・チューナーやテレビ、ビデオデッキから近い所。
(チューナーやテレビ、ビデオデッキといっしょに使用するとき、近くに置くと、雑音が入ったり、映像が乱れたりすることがあります。特に室内アンテナのときに起こりやすいので屋外アンテナの使用をおすすめします。)

設置時のご注意

- ・オーディオ機器は、密閉した場所に置いて使用しないで、温度上昇を防ぐために風通しの良い所でお使いください。
- ・スピーカーの近くに磁気を発生するもの（健康器具、玩具など）を置くと、相互作用でテレビ画面に色むらが起こりやすくなります。設置場所にご注意ください。
- ・特殊な塗装、ワックス、油脂、溶剤などが塗られている場所に、本体およびスピーカーなどを置くときは、変色、染みなどが残ることがあります。

使用時の放熱について

- ・使用中、本体の温度が上昇することがあります
が、故障ではありません。
- ・大音量で鳴らし続けると、本体キャビネットの天板や側板、底板、通風孔はかなり熱になります。
このようなときは、キャビネットなどに触れない
ようにしてください。火傷などのけがの原因にな
ります。
- ・また、動作中の温度上昇を避けるために空冷ファンを搭載している機器では、大きな音を出したときなどにファンが回転します。ファンの通風孔付近を塞いで使用すると、機器の温度が上昇して故
障の原因になります。
- ・電源を切っているにもかかわらず、本機の天板が
あたたかくなることがありますが故障ではありま
せん。電源コードがコンセントに差し込まれてい
る限り、電源を切っているときでも本機の一部に
は電流が流れています。それらは、リモコンでの
操作の待ち受けや、タイマー動作などのために使
われています。

テレビの色むらについて

本機のスピーカーは防磁型（JEITA*）のため、テ
レビのそばで使うことができますが、テレビの種類
により色むらが起こる場合があります。色むらが起
きたら、いったんテレビの電源を切り、15~30分
後に再びスイッチを入れてください。それでも色む
らが残る場合は、スピーカーをさらにテレビから離
してください。

* 電子情報技術産業協会の略称です。

残像現象（画像の焼きつき）のご注意

DVDメニュー や タイトルメニュー、ビデオCDの
メニュー、本機の設定画面などの静止画をテ
レビ画面に表示したまま長時間放置しないでくだ
さい。画面に残像現象（画像の焼きつき）を起こす
場合があります。特にプロジェクションテレビで
はこの現象が起こりやすいのでご注意ください。

への
扉

移動時のご注意

- ・必ずCDやテープを取り出してください。中に入
れたまま動かすと、取り出せなくなることがあります。
- ・移動する前に、電源が切れ、すべての動作が終了
していることを必ず確認してください。

ディスクの取り扱い

- ・紙やシールなどを貼ったり、傷つけたりしないでください。
- ・本機でお使いいただけるCDやDVDは、円形ディスクのみです。円形以外の特殊な形状（星型、ハート型、カード型など）をしたディスクを使用すると、本機の故障の原因となることがあります。
- ・ふだんのお手入れは、柔らかい布でディスクの中心から外の方向へ軽く拭きます。汚れがひどいときは、少し湿らせた布で拭いた後、乾いた布で水気を拭き取ってください。ベンジンやレコードクリーナー、静電気防止剤などは使わないでください。
- ・直射日光が当たる場所、車やトランクの中など、高音になるところには置かないでください。
- ・中古ディスクやレンタルディスクで、シールなどののりがはみ出したり、付着しているディスクは使用しないでください。プレーヤー内部にディスクが貼り付いて取り出せなくなったり、プレーヤー本体の故障の原因となります。

お手入れのしかた

キャビネットやパネル面の汚れは、中性洗剤溶液を少し含ませた柔らかい布などで拭いてください。シンナー、ベンジン、アルコールなどは表面を傷めますので、使わないでください。

カセットテープを入れる前に

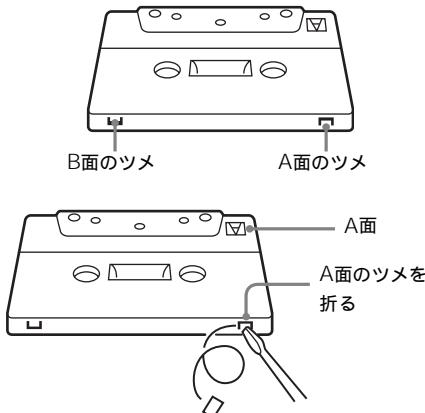
テープのたるみをとってください。たるんでいるとテープが巻き込まれて使えなくなることがあります。

長時間テープの使用は避けてください

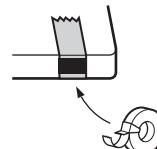
90分を超える長時間テープは、テープ自体が薄く伸びやすい性質となっています。そのため機械に巻き込まれ、本機の故障の原因となる場合があります。ご使用をお避けください。

テープの録音内容を消さないときは

消さない面の誤消去防止ツメを折ります。



ツメを折っても、折ったツメの部分だけ穴をふさげば再び録音できます。



ヘッドのお手入れ

ヘッドはおよそ10時間使うごとにクリーニングしてください。

汚れがひどくなると、音が悪い、音が小さい、音がとぎれる、前の音が消えないで残る、録音ができない、などの症状が出ます。

また、特に大切な録音をする前や古いテープを使用した後には、かならずクリーニングしてください。別売りのクリーニングカセット（乾式）C-1KN、または、クリーニングカセット（湿式）CHK-1をお使いください。詳しくはそれぞれのクリーニングカセットの取扱説明書をご覧ください。

ヘッドを消磁する

ヘッドやテープのある金属部分は、20~30時間使うごとに別売りのカセットタイプのヘッド消磁器で消磁してください。詳しくはヘッド消磁器の取扱説明書をご覧ください。

保証書とアフターサービス

保証書

- この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際、お買い上げ店でお受け取りください。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。
- 保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを
この説明書をもう一度ご覧になってお調べください。

それでも具合の悪いときはサービスへ
お買い上げ店、または添付の「アイワご相談窓口のご案内」にあるお近くのソニーサービス窓口にご相談ください。

保証期間中の修理は
保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は
修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

部品の保有期間にについて
当社ではステレオの補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を、製造打ち切り後8年間保有しています。この部品保有期間を修理可能な期間とさせていただきます。保有期間が経過した後も、故障箇所によっては修理可能な場合がありますので、お買い上げ店か、サービス窓口にご相談ください。

部品の交換について
この製品は、修理の際に交換した部品を再生、再利用する場合があります。その際、交換した部品は回収させていただきます。

ご相談になるときは次のことをお知らせください。

- 型名：XR-EM33DVD
- 故障の状態：できるだけ詳しく
- 故障したときに再生していたディスク：
- 購入年月日：
- お買い上げ店：

主な仕様

本体 (CX-LEM33D)

アンプ部

実用最大出力	30W + 30W (JEITA* 6Ω負荷)
入力端子	アナログ (MD IN): 1V、47kΩ マイク端子 : 1mV、10kΩ
出力端子	ヘッドホン端子 : ステレオミニジャック、8Ω以上
DIGITAL OUT (OPTICAL)	出力レベル : -18dBm 発光波長 : 660nm
モニター出力端子 (VIDEO OUT)	ビンジャック、 最大出力レベル : 1.0VP-P、 負荷インピーダンス : 75Ω同期負
モニター出力端子 (S VIDEO OUT)	4ピンミニDIN、 最大出力レベル 輝度信号1.0VP-P、負荷インピーダンス 75Ω同期負 色信号0.286VP-P、負荷インピーダンス 75Ω終端
モニター出力端子 (COMPONENT VIDEO OUT D1)	D端子、 最大出力レベル Y : 1.0VP-P、負荷インピーダンス 75Ω同期負 CB/B-Y、CR/R-Y : 0.7VP-P、負荷インピーダンス75Ω終端

DVDプレーヤー部

形式	CD/DVDプレーヤー
信号方式	JEITA*標準、NTSCカラー方式
周波数特性	DVD : 2Hz ~ 22kHz CD : 2Hz ~ 20kHz

カセットデッキ部

トラック方式	4トラック2チャンネルステレオ
周波数特性	ソニーTYPE Iカセット 40 ~ 13,000Hz

チューナー部

受信周波数	FM : 76 ~ 108MHz AM : 531 ~ 1,602kHz
アンテナ端子	FM : 75Ω不平衡型 AM : 外部アンテナ端子

スピーカーシステム (SSX-LFA880)

型式	2ウェイバスレフ型
使用スピーカー	ウーファー (低音用) 12cmコーン型 トゥイーター (高音用) 3cmバランスドーム型
	インピーダンス : 6Ω
最大外形寸法 (幅 × 高さ × 奥行き、最大突起部含む)	155 × 250 × 218mm
質量	2.5kg (1台)

その他

電源	AC100V、50/60Hz
消費電力	65W : 通常動作時 (JEITA*) 0.3W以下 : スタンバイ (節電モード) 時
最大外形寸法 (幅 × 高さ × 奥行き、最大突起部含む)	アンプ/DVDプレーヤー / カセットデッキ / チューナー部 :
	190 × 250 × 308mm
質量	アンプ/DVDプレーヤー / カセットデッキ / チューナー部 : 6.0kg
付属品	リモートコマンダー (1) 単3形乾電池 (2) 映像接続コード (1) FM用簡易アンテナ (1) AMループアンテナ (1) スピーカーコード (2) スピーカーパット (8) 取扱説明書 (1) 安全のために (1) アイワご相談窓口のご案内 (1) テクニカルインフォメーションセンター のご案内 (1) 保証書 (1)

仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。ご了承ください。

* JEITA (電子情報技術産業協会) 規格による測定値です。



- 待機時消費電力0.3W以下
- 主なプリント配線板にハロゲン系難燃剤を使用していません
- 主なはんだ付け部に無鉛はんだを使用
- システムの本体キャビネットにハロゲン系難燃剤を使用していません

用語解説

インデックス（CD）/ビデオインデックス（ビデオCD）

再生したい部分を見つけやすいように、1つのトラックをいくつかの部分に区切って番号を付けたもの。インデックスが記録されていないディスクもある。

視聴年齢制限（29ページ）

地域ごとの規制レベルに合わせて、視聴年齢制限に対応したディスクの再生を制限する、というDVDの機能。制限のしかたはDVDによって異なり、全く再生できない場合や過激な場面をとばしたり、別の場面に差し替えて再生する場合などがある。

シーン

PBC（プレイヤックコントロール）対応のビデオCDで、メニュー画面や動画、静止画の区切りのこと。シーンごとに順に付けられた番号をシーン番号という。

タイトル

DVDに記録されている映像や曲のいちばん大きな単位。通常は映像ソフトでは映画1作品、音楽ソフトではアルバム1枚（または1曲）にあたる。タイトルに順に付けられた番号をタイトル番号という。

地域番号（リージョンコード）（5ページ）

著作権保護を目的に設けられた制度。販売地域によって、DVDプレーヤーやDVDディスクには地域番号が割り当てられていて、プレーヤー本体やディスクのパッケージに、それぞれの地域番号が表示されている。プレーヤーとディスクの地域番号が一致していると再生できる。の表示のあるディスクは、どのプレーヤーでも再生できる。なお、地域番号の表示がないDVDでも、地域制限されている場合がある。

チャプター

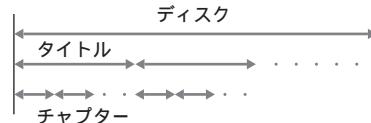
DVDに記録されている映像や曲の区切りで、タイトルよりも小さい単位。1つのタイトルはいくつかのチャプターで構成される。チャプターに順に付けられた番号をチャプター番号という。チャプターが記録されていないディスクもある。

トラック

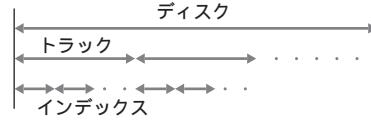
ビデオCD、CD、MP3に記録されている映像や曲の区切り（1曲分）。トラックに順に付けられた番号をトラック番号という。

ディスクに関する用語の説明

DVD



ビデオCD/CD



MP3



JPEG



ドルビーデジタル

ドルビーラボラトリーズ社の開発した音声のデジタル圧縮技術。5.1チャンネル・サラウンドに対応している。サラウンドチャンネルはステレオになり、サブウーファーチャンネルは独立して出力される。ドルビーデジタルシネマ音声方式のような高水準のデジタル音声を5.1チャンネルで楽しむことができる。全チャンネルが完全に分離した状態で記録されるのでチャンネル間セパレーションが良く、すべてデジタルで受け渡しされるので劣化しにくいという特長がある。

プレイバックコントロール (PBC) (ビデオCD)

ディスクのタイプによって、次の2種類の再生ができる。

- PBC対応でないビデオCD（バージョン1.1）
音楽用CDと同じように操作して、音声と映像（動画）を再生する。
- PBC対応ビデオCD（バージョン2.0）
PBC対応でない場合に加え、テレビ画面に表示されるメニュー画面（選択画面）を使って、対話型のソフトや検索機能のあるソフトを再生する（PBC再生、18ページ）。また、高精細の静止画も再生できる。

D映像信号

D端子付きデジタルテレビと1本のケーブルで簡単にコンポーネント映像信号を接続できるため、より高画質な画像となる。D端子には対応する信号フォーマットによってD1、D2、D3、D4端子がある。

- D1端子：525i (480i) の信号に対応
- D2端子：525i (480i) と525p (480p) の信号に対応
- D3端子：525i (480i) と525p (480p) 1125i (1080i) の信号に対応
- D4端子：525i (480i) と525p (480p) 1125i (1080i) 750p (720p) の信号に対応

本機はD1端子に対応しています。

* iはインターレース、pはプログレッシブの略。
カッコ内の数字は有効走査線数で数えたときの別称。

DTS

デジタルシアターシステムズ社の開発した音声のデジタル圧縮技術。5.1チャンネル・サラウンドに対応している。サラウンドチャンネルはステレオになり、サブウーファーチャンネルは独立して出力される。高水準のデジタル音声を5.1チャンネルで楽しむことができる。

全チャンネルが完全に分離した状態で記録されるのでチャンネル間セパレーションが良く、すべてデジタルで受け渡しされるので劣化しにくいという特長がある。

DVD

CDと同じ直径で最大8時間までの動画が記録できるディスク。

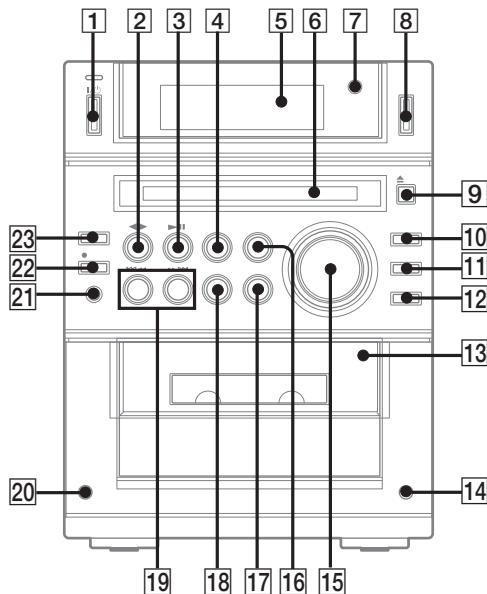
片面1層で4.7GB（GigaギガByteバイト）とCDの7倍の情報が記録でき、片面2層で8.5GB、両面1層では9.4GB、両面2層では17GBが記録できる。

画像の記録はデジタル圧縮技術の世界標準規格のひとつ、「MPEGエムベグ2」を採用し、映像データを約1/40（平均）に圧縮して記録する。また画像の状態に合わせて割り当てる情報量を変化させる可変レート符号化技術も採用されている。音声情報はPCMの他、ドルビーデジタルを用いて記録でき、より臨場感のある音声が楽しめる。

またマルチアンクル、マルチランゲージ、視聴年齢制限などさまざまな付加機能も用意され、より高度な楽しみかたができる。

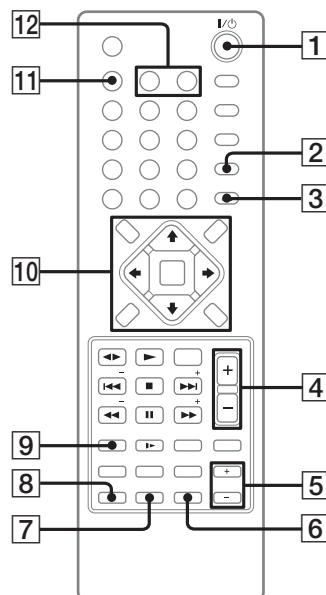
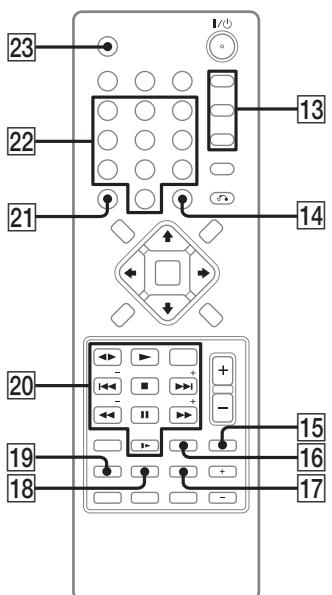
各部のなまえ

本体



- | | |
|---|--|
| ① I/□ (電源) スイッチ
テープ | ⑬ ▲PUSH OPEN (テープ取り出し) |
| ② TAPE◀▶ (再生) ボタン
ディーピーディーシーディー | ⑭ ヘッドホン端子 |
| ③ DVD/CD▷ II (再生/一時停止) ボタン
チューナー バンド | ⑮ 音量つまみ (15、33、35、43ページ)
エムディー |
| ④ TUNER/BANDボタン (31、37ページ) | ⑯ MDボタン (37、52ページ)
イコライザー |
| ⑤ 表示窓 | ⑰ プリセットEQボタン (38ページ) |
| ⑥ ディスクトレイ (14ページ) | ⑯ ■停止ボタン |
| ⑦ リモコン受光部 (11ページ) | ⑲ ◀◀/▶▶ (早戻し/早送り) ボタン
◀◀/▶▶ (頭出し) ボタン |
| ⑧ 表示切換ボタン (46ページ) | 選局 +/- ボタン (31ページ) |
| ⑨ ▲DVD/CD (ディスク取り出し) ボタン
ディーピーディーシーディー | ⑳ マイク端子 (39ページ) |
| ⑩ 再生モードボタン (15ページ) | ㉑ マイク/エコー ボタン (40ページ) |
| ⑪ リピートボタン (19ページ) | ㉒ ●録音 一時停止/スタートボタン (36、
41ページ) |
| ⑫ リバースモードボタン (35、40、45
ページ) | ㉓ CDシンクロボタン (36ページ) |

リモコン



- ① I/O (電源) スイッチ
- ② タイムサーチボタン (22ページ)
- ③ リターンボタン
- ④ 音量 +/- ボタン (15、33、35、43ページ)
- ⑤ マイクレベル +/- ボタン (39ページ)
- ⑥ エコーボタン (39ページ)
- ⑦ チューナーメモリー ボタン (31ページ)
- ⑧ ディマー ボタン (46ページ)
- ⑨ 再生モード ボタン (15ページ)

- ⑩ ↑/↓/←/→ (選択) ボタン
決定ボタン (12、26、31、43、52ページ)
ディープバイディー
DVDトップメニュー ボタン (17ページ)
ディープバイディー
DVDメニュー ボタン (17ページ)
表示切換ボタン (46ページ)
ディープバイディー
DVDセットアップ ボタン (13、26、52ページ)
- ⑪ 消音ボタン (15、33、35ページ)
- ⑫ 時計/タイマーの選択 ボタン (43ページ)
時計/タイマーの設定 ボタン (12、43ページ)
- ⑬ 字幕 ボタン (25ページ)
音声 ボタン (24、39ページ)
アングル ボタン (26ページ)
- ⑭ 決定 ボタン (12、26、31、43、52ページ)

本の
中

[次のページへつづく](#)

- [15] エムディー MDボタン (37、52ページ)**
- [16] ブリセットEQボタン (38ページ)**
- [17] カラオケポンボタン (39ページ)**
- [18] FMモードボタン (33ページ)**
- [19] リピートボタン (19ページ)**
- [20] DVD/CD▶ (再生/セレクト) ボタン**
 - テープ TAPE◀▶ (再生) ボタン
 - チューナーバンド TUNER BANDボタン (31、37ページ)
 - ◀▶/▶▶ (早戻し/早送り) ボタン
 - ◀◀/▶▶ (頭出し) ボタン
 - プリセット + / - ボタン (31ページ)
 - 選局 + / - ボタン (31ページ)
 - 停止■ボタン
 - 一時停止■ボタン
 - スロー ▶ボタン
- [21] クリアボタン (21、29ページ)**
- [22] 数字ボタン (16、29ページ)**
- [23] スリーブボタン (42ページ)**

索引

あ行

- 頭出し 22
- アナログ録音 53
- アングル 26
- インデックス 69
- 音質の調節 38
- 音声切り換え 24
- 音声言語 27

か行

- 画面表示言語 27
- 言語設定 26
- 誤消去防止ツメ 66
- コンポーネント出力 28

さ行

- サーチ 15
- 再生時間を調べる 47、48
- 再生タイマー 43
- 再生チャンネルの表示 25
- シーン 69
- 時間表示 47、48
- 視聴年齢制限 29、69
- 自動受信 31
- 字幕言語 27
- 字幕表示 25
- シャッフル再生 14
- 手動受信 32
- 受信情報を確認する 48
- シンクロ録音 35
- スリープタイマー 42
- スロー再生 (DVD/ビデオCD) 15

接続

- アンテナ 8
 - 外部アンテナ 54
 - スピーカー 8
 - 別売りの機器 50
- 設定項目一覧 30
- 節電モード 46

た行

- タイトル 69
- タイマー 42、43、44
- タイムサーチ 23
- 地域番号 5、69
- チャプター 69
- デジタル録音 53
- トラック 69

な行

- 残り時間を調べる 47、48

は行

- ビデオCD 7
- プリセット受信 33
- プレイバックコントロール (PBC) 18、70
- プログラム再生 20

ま行

- マニュアル受信 33
- マニュアル録音 36
- メッセージ一覧 64
- メニュー画面 17

ら行

- リージョンコード 5、69
- リピート再生 16
- リセット 63
- リピート再生 19
- 録音タイマー 44

A-Z

- AMアンテナ 9
- AV 27
- D映像信号 70
- D端子 10、50
- Dolby Digital 70
- DTS 70
- DVD 71
- DVDトップメニュー 17
- DVDメニュー 17
- DVDメニュー言語 27
- FMアンテナ 10
- PBC再生 18
- S映像端子 10、50
- TVタイプ 28
- 16:9 28
- 4:3パンスキヤン 28
- 4:3レターボックス 28
- 5.1ch 52

アイワ商品の修理、お取扱い方法、お買い物相談、その他アイワに関するお問い合わせ

アイワホームページ ● <http://www.jp.aiwa.com/>

アイワホームページは、アイワの商品情報とライフスタイルをご提案するホームページです。
「サポート情報」や「よくあるご質問(FAQ)」に関しては、ホームページをご活用ください。

アイワお客様ご相談センター

● ナビダイヤル  **0570-00-4680**

(全国どこからでも市内通話料金でご利用いただけます。)

● 携帯電話・PHSでのご利用は **0466-31-4833**

(ナビダイヤルがご利用になれない場合はこちらをご利用ください。)

受付時間：月～金曜日 9:00～18:00 土・日・祝日 9:00～17:00

*修理に関するお問い合わせはFAXでもお受けしております。

● FAX **0466-31-4250**

ソニー株式会社 〒141-0001 東京都品川区北品川 6-7-35

Printed in China

<http://www.aiwa.com/>